

ラル、ト雖壯丁「トラホーム」ノ成績ヲ見ルニ明治四十四年度ノ該患者ハ二百九十六人ノ多キニ達シ百人中三十四人ノ割合ニシテ前年ノ廿七人ニ比シ七人ヲ増加セリ尙一般家庭ニアリテモ交通瀦繁ナルニ從ヒ多少増加ノ傾向アリ要スルニ前者ハ蔓延激烈ニシテ而モ吾人ノ生命財產ヲ烏有ニ歸セシムルヲ以テ一朝感染スルモノアランカ直ニ醫療ヲ請ヒ苟モ隱蔽スル等ノ事ナキヲ以テ蔓延ノ虞ナシト雖後者ハ急激ニ非常ノ障害ヲ受ケサルヲ敢テ意ニ介セス充分ノ治療ヲ加エサル結果ニ外ナラズ依テ將來一層虎眼豫防並ニ勵行ノ必要ヲ認ム

第一 病院醫師藥劑師藥種商製藥者及產婆 明治四十三年十二月末日現在

町村名	病		醫師	藥劑師	藥種商	製藥者	產婆	醫師一人ニ對スル人口
	公立	私立						
土浦町	1		17					750
眞鍋町				15				3158
上大津村					3			423
下大津村								208
美並村								237
牛渡村								199
佐賀村								199
安飾村								409
志士庫村								945
關川村								255
高濱町								1050
田余村								336
玉川村								257
石岡町								1085
園部村								147
瓦會村								147

町村名	第二		隔離病舎及衛生費 (決算)	明治四十二年 度	衛生費
	完備ノモノ	稍完備ノモノ			
林村					1,309
戀瀬村					3,421
葦岡町					808
柿幡村					1,105
小櫻村					3,071
小筑村					2,101
志治村					
新會村					
七澤村					
藤澤村					
榮重村					
九原村					
栗原村					
中家村					
東家村					
合計					1,621

町村名	第二		不完備ノモノ	計	衛生費
	完備ノモノ	稍完備ノモノ			
土浦町					9,960
眞鍋町					36,301
上大津村					12,750
下大津村					13,100

町村名	組合數	組合委員數	組合費	町村費補助	寄附金
斗利出村	一	一	一	一	四二、六〇〇
山ノ莊村	一	一	一	一	一〇、六七〇
榮重村	一	一	一	一	二七、九五〇
九原村	一	一	一	一	一四、四〇〇
栗原村	一	一	一	一	六六、七三三
中家村	一	一	一	一	二〇、〇二〇
東家村	一	一	一	一	一五、四〇〇
合計	八	八	八	八	一、一〇六、六九六

第三

衛生組合

明治四十三年度

町村名	組合數	組合委員數	組合費	町村費補助	寄附金
美並村	一	一	一	一	三一、二八〇
牛渡村	一	一	一	一	二八、五〇〇
佐賀村	一	一	一	一	四五、〇〇〇
安飾村	一	一	一	一	五一、四〇〇
志士庫村	一	一	一	一	一七、〇〇〇
關川村	一	一	一	一	一四、〇〇〇
高濱町	一	一	一	一	二、五〇〇
田余村	一	一	一	一	二、五七五
玉川村	一	一	一	一	一三、七五〇
石岡町	一	一	一	一	八、四五〇
園部村	一	一	一	一	八、五九〇
瓦會村	一	一	一	一	一四、八六〇
林會村	一	一	一	一	六〇、八一六
戀瀬村	一	一	一	一	一三、八七〇
葦穂村	一	一	一	一	二〇、六五〇
柿岡町	一	一	一	一	三五、九五〇
小幡村	一	一	一	一	五〇、六五〇
小櫻村	一	一	一	一	八八、一三〇
志筑村	一	一	一	一	三三、三八〇
新治村	一	一	一	一	八、三〇〇
七會村	一	一	一	一	二二、八〇〇
都澤村	一	一	一	一	一六、一七〇
藤澤村	一	一	一	一	三二、四五〇
合計	一八	一八	一八	一八	五、一六三〇

第五種痘人員

明治四十三年度

町村名	虎列刺		腸窒扶斯		赤痢		實扶陞利亞		發疹窒扶斯		痘瘡		猩紅熱		ペスト		合計		
	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	
土浦町																			
眞鍋町																			
佐賀町																			
高濱町																			
石岡町																			
瓦會村																			
草穗村																			
柿岡町																			
小幡村																			
小幡村																			
七會村																			
都和村																			
藤澤村																			
九重村																			
栗原村																			
中家村																			
東計																			
總計	二	三	一	三	五	三	一	七											

第四種傳染病患者及死亡者

明治四十二年十二月末日現在

町村名	虎列刺		腸窒扶斯		赤痢		實扶陞利亞		發疹窒扶斯		痘瘡		猩紅熱		ペスト		合計		
	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	
田余村																			
玉川村																			
石岡町																			
園部村																			
瓦會村																			
林瀨村																			
戀穗村																			
草岡町																			
小幡村																			
志筑村																			
新治村																			
七會村																			
都和村																			
藤澤村																			
斗利出村																			
山莊村																			
榮村																			
九重村																			
栗原村																			
中家村																			
東計																			
總計	二	三	一	三	五	三	一	七											

年次	區別	第七 衛生費累年比較		決算額		合計
		郡	衛生費	町	衛生費	
明治三十八年度	全	八六、五八一	八六、五八一	二	二	八六、五八一
三十九年度	全	九六、九九八	九六、九九八	三	三	九六、九九八
四十年度	全	一、八〇、九二二	一、八〇、九二二	二	二	一、八〇、九二二
四十一年度	全	四、七九、五三三	四、七九、五三三	二	二	四、八〇、二八三
四十二年度	全	一、〇六、六九六	一、〇六、六九六	二	二	一、三六、六九六
合計		一三〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	二	二	一三〇、〇〇〇

第十八章 社寺及教會

郡民ハ一般ニ敬神ノ念深ク祭日ニハ必ス壯嚴ナル式典ヲ舉ケ鼓腹シテ大平ヲ謳歌ス社殿ノ營繕等ニ際シテハ巨金ヲ投シテ各マス而シテ神社ノ維持方法確立セルモノ少ナカラズ爾餘ハ財產造成ノ計畫中ニ屬ス

佛教ハ往時ヨリ盛ニ行ハレ堂宇ノ壯麗ナルモノ少ナカラズ就中信徒ノ最多キハ眞言宗ニシテ曹洞宗之ニ次ク葬儀ハ大半佛式ヲ以テス只舊水戸領ノ一部神葬ヲ營ムモノアルノミ年忌法會ニハ親族故舊ヲ招待シ寺院ニ布施ヲ供ヘ彼岸又ハ盂蘭盆等ノ際ニハ寺院ニ詣リ供物ヲ進メ或ハ法會ヲ設ケテ祖先ノ靈ヲ吊慰スルノ遺風ヲ存セリ近時基督教侵入シ教會ヲ設ケ布教ニ努力スト雖未タ普及ノ氣運ニ至ラズ僅ニ土浦町及石岡町ノ一部ニ信仰セラル、ニ過キズ

第一 神社及神職

明治四十二年

町村名	縣社	郷社	村社	合社	格計	無格社	神職
-----	----	----	----	----	----	-----	----

土浦町				一	一		〇
真鍋町				一	一		〇
上大津村				一	一		〇
下大津村				一	一		〇
美並村				一	一		〇
牛渡村				一	一		〇
佐賀村				一	一		〇
安飾村				一	一		〇
志士庫村				一	一		〇
關川村				一	一		〇
三川村				一	一		〇
高濱町				一	一		〇
田余村				一	一		〇
玉川村				一	一		〇
石岡町				一	一		〇
園部村				一	一		〇
瓦會村				一	一		〇
林村				一	一		〇
合計				一〇	一〇		〇

備考 神職ノ〇印ハ兼職ニアルモノ

第二 寺院及住職

明治四十二年

町村名	宗		日蓮時	合計	住		計
	天臺	眞言			男	女	
土浦町	・			三	〇	〇	〇
眞鍋町		五		四	〇	〇	〇
上大津村		八		二	〇	〇	〇
美並村		四		五	〇	〇	〇
牛渡村		三		四	〇	〇	〇
佐賀村		四		五	〇	〇	〇
安飾村		二		二	〇	〇	〇
志士庫村		二		二	〇	〇	〇
關川村		二		二	〇	〇	〇
三川村		一		二	〇	〇	〇
高濱町				四	〇	〇	〇
田余村				四	〇	〇	〇
石岡町		四		一	〇	〇	〇
合計				一四	〇	〇	〇
天臺				三			
眞言				一			
淨土				一			
臨濟				一			
曹洞				三			
眞				一			
日蓮				一			
時				一			
合計				一四			
男				〇			
女				〇			
計				〇			

合計	東家村	中家村	栗原村	九重村	榮村	山ノ莊村	斗利出村	藤澤村	都和村	七會村	新治村	志筑村	小櫻村	小幡村	柿岡町	葦穂村	戀瀬村
一																	
五																	
一〇七	二	四	二	八	八	一	三	三	四	二	四	三	一	二	一		
二三	二	四	二	八	八	二	三	三	四	二	四	三	一	二	二	一	
三九	八	六	一	六	一	六	七	三	九	四	五	八	八	五	〇	五	四
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八五九	二	四	二	九	七	一	二	三	一	二	三	四	一	二	一	一	二

町村名	縣		社		郷		村		無		格		合	計
	土地時價	金員	有價証券	土地時價	金員	有價証券	土地時價	金員	有價証券	土地時價	金員	有價証券		
土浦町							10	250					10	250
眞鍋町							10	250					10	250
下大津村					500		170	1,161					170	1,161
美並村							83	11					83	11
牛渡村							680	405					680	405
安飾村							300	300					300	300
志士庫村							33	70					33	70
關川村							450	113					450	113
三余村							193	71					193	71
田余村							178	71					178	71
石岡町	200	1,000					150	95					150	95
瓦會村							800	100					800	100
草穗村							100	100					100	100
小幡村							300	100					300	100
小櫻村							390	410					390	410
合							1,110	1,095					1,110	1,095
計							1,110	1,095					1,110	1,095

第三 神社財産調 明治四十二年

備考 住職ノ〇印ハ兼職ニアルモノ

町村名	土地時價	金員	有價証券	土地時價	金員	有價証券	土地時價	金員	有價証券	合	計
中家村											
東家村											
合計	13	33	3	10	2	31	5	1	7	16	33
園部村											
瓦會村											
林村											
戀瀬村											
葦穂村											
柿岡町											
小幡村											
小櫻村											
志筑村											
新治村											
七會村											
都和村											
藤澤村											
斗利出村											
山ノ莊村											
榮村											
九重村											
栗原村											
合											
計											

高濱町	田余町	石岡村	園部村	瓦部村	林會村	懸瀨村	葦穂村	柿岡町	小幡村	小櫻村	志筑村	新治村	七會村	都和村	藤澤村	斗利出村	山ノ莊村	榮重村	九原村	栗原村	中家村	東家村	總計
二,八〇〇,〇〇〇	三,一〇六,〇〇〇	三九,七五〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇	二,一六六,〇〇〇	三,八三〇,〇〇〇	三,二四三,〇〇〇	四,〇一〇,〇〇〇	五,六一五,〇〇〇	九,二八〇,〇〇〇	一,五八〇,〇〇〇	七,六九六,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	六,七三七,〇〇〇	七,三九〇,〇〇〇	七,九一五,〇〇〇	二,七〇五,〇〇〇	一,九〇五,〇〇〇	二六,七八五,〇〇〇	一四,六九二,〇〇〇	一〇,一七〇,〇〇〇	二,〇八九,〇〇〇	三,六四三,〇〇〇	三〇〇,二八〇,〇〇〇
100,000									150,000	300,000	900,000	50,000			500,000	1,000,000				600,000			4,280,000
																							110,000
二,八〇〇,〇〇〇	三,一〇六,〇〇〇	三九,七五〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇	二,一六六,〇〇〇	三,八三〇,〇〇〇	三,二四三,〇〇〇	四,〇一〇,〇〇〇	五,六一五,〇〇〇	九,二八〇,〇〇〇	一,五八〇,〇〇〇	七,六九六,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	六,七三七,〇〇〇	七,三九〇,〇〇〇	七,九一五,〇〇〇	二,七〇五,〇〇〇	一,九〇五,〇〇〇	二六,七八五,〇〇〇	一四,六九二,〇〇〇	一〇,一七〇,〇〇〇	二,〇八九,〇〇〇	三,六四三,〇〇〇	三〇七,五八〇,〇〇〇

志筑村	新治村	七會村	藤澤村	斗利出村	榮重村	中家村	東家村	合計
1,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
1,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
2,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
3,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
4,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
5,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
6,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,300	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,400	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,500	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,600	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,700	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,800	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
7,900	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
8,000	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
8,100	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27
100								
8,200	110	400	27	1,234	80	100	2,234	27

第十九章 兵事

時運ノ進歩ト教育ノ普及ニ伴ヒ兵役ニ對スル觀念ハ愈益向上シツ、アリ而シテ帝國在郷軍人分會ノ設立並ニ青年團ノ勃興ハ尙武心ノ振作ニ多大ノ影響ヲ與フルモノ、如シ從テ陸海軍人ノ志願者多ク徵兵検査ニ際シテモ逃亡所在不明無故不參者等次第ニ其數ヲ減少スルニ至レリ

町村名	第一種		丙種	丁種	戊種	合計	受檢者					
	甲種	乙種					甲種	乙種	丙種	丁種	戊種	
土鍋町	二五	一三	二五	二	三	一〇三	二四、二七	二、六三	二五、二四	二四、二七	一〇、六八	二、九一
眞鍋町	一六	一三	二五	一	一	三〇	五三、三三	六、六七	一六、六七	二三、三三	二〇、八三	四、一七
上大津村	一三	一三	二五	一	一	二四	四一、一七	四、一七	一六、六七	二〇、八三	二〇、八三	二〇、八三
下大津村	一〇	一三	二五	一	一	一四	四一、六七	二〇、八三	二〇、八三	二〇、八三	二〇、八三	二〇、八三
美並村	一〇	一三	二五	一	一	一四	三二、五八	二、〇五	二二、〇五	二二、〇五	二二、〇五	二二、〇五
牛渡村	一〇	一三	二五	一	一	一四	五八、八二	五、八八	一七、六五	一七、六五	一七、六五	一七、六五
佐賀村	一〇	一三	二五	一	一	一四	五八、〇七	二、五八	二二、九一	二二、九一	二二、九一	二二、九一
安飾村	一〇	一三	二五	一	一	一四	五〇、〇〇	三、〇八	七、六九	一、五三	一、五三	一、五三
志士庫村	一〇	一三	二五	一	一	一四	五五、八八	二、七六	一、七六	一、七六	一、七六	一、七六
關川村	一〇	一三	二五	一	一	一四	六六、六七	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六	一、六六
三川村	一〇	一三	二五	一	一	一四	五三、八五	一、六六	三〇、七	七、六九	七、六九	七、六九
高濱町	一〇	一三	二五	一	一	一四	四八、〇〇	四、〇〇	三三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
田余村	一〇	一三	二五	一	一	一四	二六、六七	四、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇
玉川村	一〇	一三	二五	一	一	一四	六、五〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
石岡村	一〇	一三	二五	一	一	一四	四四、六四	一〇、七二	一四、二九	一四、二九	一四、二九	一四、二九
瓦部村	一〇	一三	二五	一	一	一四	三八、四六	一〇、七二	一四、二九	一四、二九	一四、二九	一四、二九
會村	一〇	一三	二五	一	一	一四	一〇、五三	一、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三

町村名	第一種		丙種	丁種	戊種	合計	受檢者					
	甲種	乙種					甲種	乙種	丙種	丁種	戊種	
林瀨村	一五	一三	二五	二	二	二四	六、五〇	八、三三	四、一七	一六、六七	八、三三	一〇、三四
戀穂村	一四	一三	二五	二	二	二九	四八、二八	六、九〇	一七、二四	一三、七九	一三、七九	一三、七九
草穂町	一〇	一三	二五	二	二	二九	三七、九四	一〇、三四	二〇、六九	二〇、六九	二〇、六九	二〇、六九
柿岡村	一〇	一三	二五	二	二	二九	三一、二五	一五、六三	一八、七五	一八、七五	一八、七五	一八、七五
小幡村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四八、〇〇	二、〇〇	二四、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇
小櫻村	一〇	一三	二五	二	二	二九	三七、五〇	八、三三	二二、五〇	二二、五〇	二二、五〇	二二、五〇
志筑村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
新治村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
七會村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
都和村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
藤深村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
斗利出村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
山ノ莊村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
榮村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
九重村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
栗原村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
中家村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
東家村	一〇	一三	二五	二	二	二九	四七、三七	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三	一〇、五三
總計	四三八	二七	一七五	四〇	三	九七一	四、五、一一	二、〇、五	一八、四、三	一八、〇、二	四、二	二、二、七

東 村										總計	壯丁	羅病者	明治四十三年度		
土浦町	眞鍋町	上大津村	下大津村	美並村	牛渡村	佐賀村	安飾村	志士庫村	關川村					高濱村	田余村
眼										五					
重眼															
中眼															
輕眼															
其他眼病															
計										三七五	一七				
梅毒															
下疳										四六〇	一五				
痲疾															
計										六三					
骨格										一七					
筋弱															
筋強															
骨弱										九六六	三三				
骨強															
計										五、二八	五三、三	四六、八七			
皮膚內臟及五官器病															
皮膚病										三八、八二	四六、八七	六、五二			
內臟病															
五官器病															
計										一、七六					

三九五

東 村										總計	壯丁	羅病者	明治四十三年度																																						
中栗家村	栗原村	九重村	榮重村	山ノ莊村	斗利出村	藤澤村	都和會村	七治村	新築村					志筑村	小櫻村	小幡村	柿岡村	葦穂村	戀瀬村	林會村	瓦部村	石岡村	玉川村	田余村	高濱村	三川村	關川村																								
眼																							二一	四	一	五	二	二	一	一	一	二	一	一	七	一															
眼病																							一五	七	五	一	二	七	二	八	三	五	七	二	四	三	一	〇	四	九	五	六	三	九	四	五	〇	二	三		
梅毒																							八	四	六	六	八	六	五	八	九	四	〇	〇	九	一	六	一	五	一	一	〇	八	四	六	三	〇	二	七	三	
痲疾																							一	三	一	二	一	三	二	一	二	一	二	三	二	三	一	三	一	三	一	七									
骨格																							二	一										二	一	一	一														
筋弱																							二	六	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	
筋強																							二	六	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	
骨弱																							七	六	九	五	八	八	三	六	六	六	一	五	五	七	一	五	二	〇	三	三	五	三	二	一	九	二	三	六	
骨強																							七	六	九	五	八	八	三	六	六	一	五	五	七	一	五	二	〇	三	三	五	三	二	一	九	二	三	六		
計																							七、六九	五、八八	二、七三	三、六六	六、六六	一、五五	五、七二	八、七〇	五、二六	三、八四	三、四五	八、三三	五、二六	三、八五	六、三〇	二、一一	九	一、五	二、四	二、二	八、三三	五、〇〇	一、六、六七	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	
皮膚內臟及五官器病																							五七、六九	四、一八	二、七三	九、〇九	五、三八	四、六七	六、〇〇	二、四二	三、七二	二、七三	三、八五	五、〇〇	五、八五	四、〇二	三、四八	四、二八	三、七五	二、六三	二、〇七	三、五、一四	四、四、四五	三、三、三三	四、一、六七	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	
皮膚病																							三〇、七七	二、三五	六、九五	五、五五	三、八〇	四、〇〇	二、五〇	五、四、五五	五、四、二九	六、〇、八七	五、二、六三	四、一、六七	五、三、八五	四、〇、六二	五、〇、〇〇	五、一、七三	三、七、九三	四、五、八三	五、二、六四	六、九、三三	四、一、四四	三、三、三三	六、六、六七	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	五、〇、〇〇	
內臟病																							三、八五	一、七、六五	四、三五	九、五二	六、六七	一、五、〇〇	六、〇、六	二、八、六	八、七〇	五、二、六	八、三三	八、三三	九、三八	六、八九	一〇、三四	四、一、七	一、五、七八	三、八、五	一、五、三二	一、八、〇	一、一、二	一、一、二	一、六、六七	八、三三	一、六、六七	一、六、六七	一、六、六七	一、六、六七	
五官器病																							一、七、六	四、三五	七、六九	三、四五	三、四五	四、一七	一、八〇																						

三九四

年次	第五 陸軍々人志願者																				
	總計	東家村	中栗原村	栗重村	九重村	榮山ノ莊村	斗利出村	藤澤村	都和村	七會村	新治村	志筑村	小櫻村	小幡村	柿岡町	華穂村	戀瀬村	林村	瓦部村	園部村	
士官候補生	三															一	一				
中央幼年學校	四七二〇八	七三	二七			一三五	七〇	二四	七九	一一〇	五	一	三	一							
一年志願兵	四五三																				
現役兵	三〇三	二	四	二	八	一	二	五	七	一	三	四	五	九	三	三	三	九	四	七	五
砲兵工長	四																				
軍樂生	七三																				
現役兵	三〇	二	一																		
砲兵工長	一〇一	三	二	一		四	二	一	七	三	三	五	四	一	五	三	三	一	一	五	
軍樂生	三六	一	一																		
現役兵	四																				
砲兵工長	三																				
軍樂生	一																				
現役兵	五																				
砲兵工長	四九	一	一	一	一																

年次	第六 海軍々人志願者														
	總計	水兵	機關兵	看護兵	主厨	木工	軍樂生	合計	水兵	機關兵	看護兵	主厨	木工	軍樂生	合計
士官候補生	三														
中央幼年學校	四七二〇八	七三	二七												
一年志願兵	四五三														
現役兵	三〇三	二	四	二	八	一	二	五	七	一	三	四	五	九	三
砲兵工長	四														
軍樂生	七三														
現役兵	三〇	二	一												
砲兵工長	一〇一	三	二	一		四	二	一	七	三	三	五	四	一	五
軍樂生	三六	一	一												
現役兵	四														
砲兵工長	三														
軍樂生	一														
現役兵	五														
砲兵工長	四九	一	一	一	一										

備考 士官候補生ノ欄右傍ニ掲ケタルハ士官候補生左傍ハ主計候補生ナリ又現役兵ノ欄右傍ハ本年適齡者ニシテ左傍ハ令第十二條該當者ナリ

第七 赤十字社員及年釀金 明治四十四年十一月末日現在

町村名	特別會員	通常會員	合計	贊助員	合計	會員一人ニ對スル女子人口
小櫻村	—	—	—	—	—	—
志筑村	—	—	—	—	—	—
新治村	—	—	—	—	—	—
七會村	—	—	—	—	—	—
都和村	—	—	—	—	—	—
藤澤村	—	—	—	—	—	—
斗利出村	—	—	—	—	—	—
山ノ莊村	—	—	—	—	—	—
榮重村	—	—	—	—	—	—
九原村	—	—	—	—	—	—
栗原村	—	—	—	—	—	—
中家村	—	—	—	—	—	—
東家村	—	—	—	—	—	—
總計	二	三〇	三、〇八五	四	三、一一一	三八

第八 愛國婦人會員 明治四十三年十二月三十一日

町村名	名譽	有功	特別	正社員	社員	合計	終身正社員	贊助員	合計	合計年醜金	正社員一人ニ對スル人口
小幡村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
柿岡村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
韋穗村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
戀瀬村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
林會村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瓦部村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
園岡村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石岡村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
田余村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高濱村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
關川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
志士庫村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安飾村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛渡村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美並村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下大津村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上大津村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眞鍋町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土浦町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
町村名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	三	三	二五三	二五三	—	二五三	三九一、〇〇〇	四八

山ノ莊村	斗利出村	藤澤村	郡和村	七會村	新治村	志筑村	小櫻村	小幡村	柿岡村	葦穂村	戀瀬村	林瀬村	瓦部村	園岡村	石岡村	玉川村	田余村	高濱村	三川村	關川村	志士庫村	安飾村	佐賀村
一	一								二				一	一	七	三	一			二	六		
三四	三〇	四三	一六	一〇	二二	三六	二二	二八	三九	七〇	三〇	二二	一五	六六	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
三五	三三	四三	一六	一一	二二	三六	二二	二八	三九	七〇	三〇	二二	一五	六六	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六	五	六

榮重村	栗原村	中家村	東家村	總計
二	一	二	一	五
三三	一五	三三	二二	八四
三四	一五	三三	二二	八四
三九	一四	四〇	二二	一一五

第二十章 各種機關

凡ソ産業ノ進歩發達ヲ圖ラント欲セバ之カ媒介タル機關ヲ要スルヤ言ヲ俟タズ若シ其機關ニシテ缺如スルアラシカ健全ナル發達ハ得テ望ム可カラス今ヤ本郡ハ實業機關トシテ農會アリ産業組合アリ同業組合アリ諸會社アリ金融機關トシテ幾多ノ銀行アリ畧備ハレリト云フヲ得ベシ就中産業組合ハ中産以下ノ人民ニ産業ニ必要ナル資金ヲ供給シ生産品ノ販賣必需品ノ共同購入其他貯金ノ便ヲ與ヘ能ク富者ト共ニ生存競走場裡ニ馳驅セシムル唯一ノ機關ナルヲ以テ農村ニ緊要缺クベカラサル機關ナリトス然レトモ郡内既設ノモノ未タ僅ニ二十餘ニ過キサシハ頗ル遺憾トスル所ナリ依テ今後大ニ之カ増設ヲ獎勵セントス

第一 郡農會歳入 (決算) 明治四十三年度

會費	町村農會負擔	雜收入	預金利息	國債利息	補助金	郡費補助	縣農會補助	繰越金
金百七拾五圓	金百七拾五圓	金貳拾九圓拾六錢	金貳拾四圓拾六錢	金五圓	金參千八百參拾八圓六錢	金參千四拾八圓四拾錢	金七百八拾九圓六拾六錢	金七百拾九圓拾貳錢九厘

前年度繰越金
總計金四千七百六拾壹圓參拾四錢九厘

第二 郡農會歲出 (決算)

事務所費	金七百拾九圓拾貳錢九厘
俸給	明治四十三年度
報酬	金八百八拾參圓七拾九錢參厘
旅費	金參百九圓九拾九錢
備品費	金九拾參圓參拾參錢
消耗品費	金貳百五拾圓五拾四錢
通信運搬費	金九拾七圓四拾九錢七厘
印刷費	金八拾壹圓八拾七錢
雜給	金壹圓五錢
會議費	金四拾壹圓七拾錢
評議員會費	金貳拾九圓
總會費	金參圓
事業費	金貳拾六圓
技術員費	金貳千參百八拾八圓四拾錢
講習會費	金千貳百五圓六拾九錢
種苗費	金六拾九圓七拾錢
獎勵費	金七拾壹圓八拾壹錢五厘
模範採種場費	金九百參拾圓七拾八錢五厘
調查費	金四拾九圓貳拾錢
蠶種檢查費	金六拾壹圓貳拾壹錢
補助費	金參百七拾圓

補助費
會費及負擔
會費及負擔
財產費
總計金參千八百四拾九圓七拾九錢七厘

金參百七拾圓
金百貳拾八圓六拾錢
金百貳拾八圓六拾錢
金五拾圓
金五拾圓

第三 町村農會歲入 (決算) 明治四十三年度

町村名	會費	收入			補助		綠越金	合計
		雜	收	入	補	助		
土浦町	四、〇〇〇			一、四八〇	一七、〇〇〇	一五、〇〇〇	一、五三五	六三、五五
真鍋町	五、五四〇				一七、〇〇〇	五五、二四〇	五、〇〇〇	一一、七二〇
上大津村	一四、四〇〇				一七、〇〇〇	三、〇〇〇	五四、一〇〇	一三八、六〇〇
下大津村	一八、七五〇				一七、〇〇〇	五、〇〇〇	二、五〇〇	一一五、九三〇
美並村					一七、〇〇〇	三五、〇〇〇	五、〇〇〇	一〇五、七五〇
牛渡村					一七、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇六、三七〇	二〇三、三七〇
佐賀村					一七、〇〇〇	四七、〇〇〇		九四、〇〇〇
安飾村	一五、〇〇〇				一七、〇〇〇	五〇、〇〇〇		一一三、〇〇〇
志士庫村					一七、〇〇〇	四〇、〇〇〇	三八、〇〇〇	一一五、〇〇〇
關川村	七、五〇〇				一七、〇〇〇	四〇、〇〇〇	三三、四三七	一一六、九三七
三濱村					三五、〇〇〇	四七、〇〇〇		一一二、〇〇〇
高濱町	六、五〇〇	四、〇〇〇		一、六〇〇	一七、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三七、九五〇	一一七、〇五〇
田余村	一五、〇〇〇				一七、〇〇〇	八一、〇〇〇	一、六九三	一四七、六九三
玉川村	一〇、〇〇〇				一七、〇〇〇	三〇、〇〇〇		八七、〇〇〇
石岡町	三、六〇〇				一四、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	五七、九四七	二八八、一六八

町村名	俸給及報酬	旅費	備品及消費	通信運搬費	雜給雜費	計	害虫驅除費	品評會費
真鍋町	三〇,〇〇〇	四,八〇〇	一,八〇〇	一,八八〇	七,八七五	三三,七〇〇	五,九三〇	一,九四五
園部村	一四,三二〇		二〇,〇〇〇	一五〇	一〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二,三二五	一三七,七五
瓦會村	四,八六五				七〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇		一四二,六五
林瀨村	五,〇〇〇				一七,〇〇〇	三〇,〇〇〇		一〇一,〇〇〇
戀瀨村	三,〇〇〇				一七,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二,〇九〇	九六,〇九〇
草穂村	三,〇〇〇				一七,〇〇〇	三〇,〇〇〇	五〇	一〇八,五二〇
柿岡町	一三,二五〇				四八,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三,二六四	一四,五二四
小幡村	三,〇〇〇				八五,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二,〇〇〇	一五七,二〇
小櫻村	一八,九三〇				九五,二〇〇	三〇,〇〇〇	二,〇〇〇	一四八,九三〇
志筑村	三,〇〇〇				四七,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二七,二一九	一二,二一九
新治村	一六,〇〇〇				三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	五八,六七五	一五五,六七五
七和村	三,〇〇〇				五七,〇〇〇	三〇,〇〇〇		八〇,〇〇〇
邵和村	一六,〇〇〇				八〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇		一二〇,〇〇〇
藤澤村	三,〇〇〇				四八,〇〇〇	三〇,〇〇〇	四,〇〇〇	一三〇,四〇〇
斗利出村	九,〇〇〇				五〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇		一〇五,〇〇〇
山ノ莊村	八,〇〇〇				五〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇		一〇九,〇〇〇
九重村	一八,二七〇				二〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二六,二〇五	一一一,三七五
栗原村	三,〇〇〇		三五,〇〇〇		五〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	五,一六〇	一七三,八六〇
中家村	三,〇〇〇				二〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	九,〇〇七	八九,〇〇七
東家村	三〇,〇〇〇				一七五,七二二	一〇,〇一〇	五〇,一八七	四二七,七八三
總計	三〇,三九五	四,〇〇〇	五五,〇〇〇	一五,八五一	六九,〇〇〇	一〇,〇一〇	五〇,一八七	四二七,七八三

四〇五

町村名	俸給及報酬	旅費	備品及消費	通信運搬費	雜給雜費	計	害虫驅除費	品評會費
土浦町	三,〇〇〇	一,〇〇〇	五〇〇		五〇〇	三四,〇〇〇	一三,五五五	三,〇〇〇

第四 町村農會歲出ノ一 (決算) 明治四十三年度

四〇五

町村名	購買組合	信用組合	信用購買組合	購買生產組合	購買販賣組合	信用販賣組合	合計	第五 產業組合ノ一	
								總計	東村
上 大津村	二	二	一	一	一	一	三、五〇〇	一、六九〇	二、六〇〇
美 並村	一	一	一	一	一	一	二、〇〇〇	七、九七五	一、六九〇
佐 賀村	一	一	一	一	一	一	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
安 飾村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
志 士庫村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
關 川村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三 岡村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
石 岡町	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
園 部村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
戀 瀨村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
華 穂村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
志 筑村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
藤 澤村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
九 重村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
中 家村	一	一	一	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
總 計	二	二	三	一	一	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

產業組合ノ二

名	稱	位 置	設 立 年 月 日	組 合 出 資 口 數	出 資 口 數	出 資 總 額	拂 込 濟 準 備 金 及 積 立 金
有限責任上大津購買組合	上大津村大字手野	二〇六番地	三十五年七月十二日	五	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,三七〇
有限責任虫掛購買組合	藤澤村大字虫掛	六七番地	四十二年五月八日	一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三〇六、六一
有限責任上大津信用組合	上大津村大字手野	二四六番地	三十五年十月八日	四	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	四、七五四
有限責任安倉購買組合	志士庫村大字安倉	九一八番地	四十三年一月十五日	三	五〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一七九、八三九
有限責任志筑購買組合	志筑村大字中志筑	三五番地	四十年三月二十七日	三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	七九、一七〇
無限責任三村信用組合	三村一五九番地	三村一五九番地	四十年九月十日	五	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二六、五二〇
保證責任菅谷信用購買組合	上大津村大字菅谷	二八番地	四十年四月廿六日	一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一九六、三五二
有限責任中家購買組合	中家村大字飯田	八番地	四十三年六月十七日	二	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一、九六、三五二
保證責任田伏信用購買組合	佐賀村大字田伏	一五七番地	四十二年七月三日	三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六八、〇〇〇
有限責任南購買組合	美並村大字南根本	一番地	三十九年二月八日	一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三九、九二
無限責任葦穂信用組合	葦穂村大字吉生	六番地	三十六年七月廿二日	三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六四、六〇七
保證責任八木信用購買組合	關川村大字井關	二四番地	四十一年五月廿三日	三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六三、六五
保證責任田信信用購買組合	上大津村大字東成井	七十八番地	四十一年三月廿七日	二	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三四、七二六
無限責任園部申購買生產組合	園部村大字東成井	三九番地	四十二年五月八日	二	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一五、四八一
有限責任石岡信用組合	石岡町大字石岡	二、〇八八番地	四十二年五月十九日	一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	五七、四八九
無限責任三村購買販賣組合	三村六二番地	三村六二番地	三十九年三月廿九日	四	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二四、四九四

有限責任戀瀨購買組合	戀瀨村大字小見	三十九年三月十九日	五	九七	10,000	九七0,000	八六0,111	135,131
有限責任深谷購買組合	美並村大字深谷	三十九年五月三日	三三	三三	10,000	130,000	130,000	三七,四六七
無限責任九重購買組合	九重村大字東	三十九年七月十七日	二五	101	10,000	1,010,000	四四六,111	九,一七五八
有限責任安飾村購買組合	安飾村大字安食	四十二年六月十四日	三〇	三三	15,000	九四五,000	三七八,000	
無限責任葦穂購買組合	葦穂村大字上曾	三十六年九月三十日	四九	101	10,000	1,010,000	八七六,064	二九三,九三三
有限責任	美並村大字大和田	四十二年三月九日	四〇	101	10,000	1,010,000	1,011,000	
有限責任葦穂購買組合	美並村大字大和田	四十二年三月九日	八七	三三	三五,000	1,010,000	1,011,000	
計			八七	三三	三五,000	1,010,000	1,011,000	

產業組合ノ三 明治四十三年十二月末日現在

組合名稱	貸付金	貯金	借入金	購買		販賣		總益金	總損金	剩餘金
				購買高	賣却高	受入高	販賣高			
有限責任上天津購買組合	二,五二二	一,〇五二	三三六	四,三九八	二,九〇四	二六,〇五一	九七,二八〇	一六四,七一	七〇,六六一	一六四,七一
有限責任虫掛購買組合			八三三	二,〇四六	二,〇三三	110,114	四九,五五三	七〇,六六一	七〇,六六一	七〇,六六一
有限責任上天津信用組合			八三三	一,七九	一,四三三	二六五,〇六四	一九三,六〇一	七〇,六六一	七〇,六六一	七〇,六六一
有限責任志筑購買組合			五〇〇	二,五二	一,三三四	八六,〇六一	一,八〇〇	八四,二六一	八四,二六一	八四,二六一
無限責任三村信用組合	二,五〇〇	一六七	五〇〇	二,〇九九	一,九〇〇	二九〇,〇二七	一七九,〇三三	一一九,九九五	一一九,九九五	一一九,九九五
保證責任菅谷信用購買組合	三,一八三	八七七	1,100	四,〇〇	四,〇〇	五六〇,三四	三三三,六八六	二二六,六二八	二二六,六二八	二二六,六二八
有限責任中家購買組合			四〇〇	二〇八	二二二	一一,三〇六	一七,三五二	一七,三五二	一七,三五二	一七,三五二
保證責任田伏信用購買組合			四〇〇	一,五五	一,六〇	110,六一五	二,八六〇	二,八六〇	二,八六〇	二,八六〇
有限責任葦穂信用組合	二,四七二	二五	四〇〇	一,五五	一,六〇	五八四,七九〇	六五,七九七	二八,九三三	二八,九三三	二八,九三三

保證責任八木信用購買組合	一,八五五	二九二	六五七	一,六八八	一,六六一	一六三,五六一	八一,九九九	八一,九九九	八一,九九九
保證責任田全	九四六	二四	五九〇	一,100	一,100	二五二,九九四	一六二,八九〇	九〇,104	九〇,104
無限責任園部申購買生產組合			五〇〇	一,100	一,100	四四一,八二五	三三三,六八六	一一〇,一三九	一一〇,一三九
有限責任石岡信用組合	三,三七五	一,五六二	一,三三二	一,三三二	一,三三二	四四一,八二五	三三三,六八六	一一〇,一三九	一一〇,一三九
無限責任三村購買販賣組合			三四二	一,六四	一,六八一	三三〇,四一三	二七,三三一	二七,三三一	二七,三三一
有限責任戀瀨購買組合			一,四三	一,四三	一,四三	二二,九四二	五,四六〇	一七,四八二	一七,四八二
有限責任深谷購買組合			七二	七二	七二	三三,四八〇	一一,四二〇	二二,〇六〇	二二,〇六〇
無限責任九重購買組合			一,四一一	一,四一一	一,四一一	三三,一八〇	一一,四二〇	二二,〇六〇	二二,〇六〇
有限責任安飾村購買組合			三二	三二	三二	四〇,〇〇〇	八六,五〇〇	二六,五〇〇	二六,五〇〇
無限責任葦穂購買組合			二〇五	二〇五	二〇五	四〇,〇〇〇	八六,五〇〇	二六,五〇〇	二六,五〇〇
有限責任信用			二〇五	二〇五	二〇五	四〇,〇〇〇	八六,五〇〇	二六,五〇〇	二六,五〇〇
販賣組合 確水社美並組合	一六,八九二	三,九九七	六,六〇四	二五,八八七	二二,七三三	八,四四一	八,四四一	四七,六九〇	二九,六三〇
計			二五,八八七	二二,七三三	九,〇四一	九,〇四一	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇

第六 同業組合

銀行名	設立年月日	資本金額	拂込額	所在地	責任社員	氏名
株式會社土浦五十銀行	三十年七月十日	七拾五萬圓	全額	土浦町	頭取	一色 範 叙
全 土浦農商銀行	廿九年八月十三日	舊株拾萬圓 新株貳拾萬圓	全額	全	全	櫻井平兵衛
全 石岡貯蓄銀行	三十二年十二月二日	八萬圓	貳萬四千圓	石岡町	全	久松庄助
全 石岡銀行	二十二年四月十九日	舊株拾萬圓 新株拾萬圓	全額	全	全	濱平右衛門
合資會社川崎銀行支店	卅八年十一月十三日	百萬圓	貳萬五千圓	全	代表社員	川崎金三郎

合資會社猿田銀行支店	二十九日一月廿五日	壹萬貳千圓	全	額	石岡町	代表社員	猿田仙右衛門
土浦三ッ輪銀行	三十四年三月一日	拾萬圓	全	額	土浦町	行主代理	安藤近次

第八 會社表 株式會社

會社名	設立年月日	資本金額	拂込額	所在地	責任社員	氏名
土浦電氣株式會社	四十三年五月九日	五萬圓	半	土浦町	取締役	吉村鐵之助
株式會社樹藝社	三十年六月四日	九千六拾圓	全	三村	全	飯坂致格

株式合資會社

石岡運送株式合資會社	三十二年十二月五日	五千圓	半	額	石岡町	代表社員	篠目八郎兵衛
笹久運送株式合資會社	三十四年四月廿三日	千四百圓	全	額	高濱町	全	稻葉榮治郎

合資會社

土浦合資魚會社	十四年七月十五日	千四百圓	全	額	土浦町	業務擔當員	內田要之助
土浦運輸合資會社	二十九年三月五日	千六百圓	半	額	全	全	飯島昌三郎
合資會社土浦柳旦新聞店	三十年十月十日	千五百圓	全	額	全	代表社員	柳澤鶴吉
日本醬油販賣合資會社	四十一年五月十日	五萬圓	全	額	全	代表社員	岡本儀兵衛
合資會社飯田商店	四十一年十月廿四日	五千圓	全	額	全	全	飯田萬兵衛

合資會社岡谷製糸會社支店	三十年五月卅一日	三十萬三千圓		額	真鍋町	代表社員	小口金三郎
富士二合資會社	四十三年三月十五日	五千圓		額	土浦町	全	瀧美喜十
小沼合資會社	三十五年七月十七日	二萬圓	全	額	石岡町	全	小沼銀三郎
武石醬油合資會社	三十七年十月廿四日	一萬圓	全	額	全	全	武石伊兵衛
富士色合資會社	三十八年十月十六日	七千圓	全	額	全	全	吉久保熊次郎
九九合資會社	四十年九月五日	二千圓		額	國部村	全	久保田倉之助
石岡鑛製造販賣合資會社	四十年十二月卅一日	三千圓		額	石岡町	全	高木良之助
平井製材合資會社	四十一年六月五日	一萬圓		額	全	全	平井德之助
熊岡運送合資會社	四十二年一月十八日	千五百圓	半	額	全	全	本橋由次郎
三村物品販賣合資會社	四十二年二月二日	千六百圓	全	額	三村	全	荻沼爲之丞
金子醬油合資會社	四十二年三月十五日	二千圓		額	石岡町	全	金子源兵衛
三石合資會社	二十六年九月二十日	七千五百圓		額	全	全	大和田貞次郎
合資會社石岡製糸所	二十四年六月十日	八千圓		額	全	全	尾坪幸助
合資會社石岡同盟運送店	三十二年三月十二日	三千圓		額	全	全	武石伊兵衛
土浦埋立合資會社	四十三年十二月廿日	一萬圓		額	土浦町	全	

合名會社

合名會社栗山藥舖	三十八年十月廿一日	二千圓	全	額	土浦町	代表社員	栗山はま
----------	-----------	-----	---	---	-----	------	------

將來之部

合名會社柴沼商店	四十二年一月十三日	三萬圓	全額	藤澤村	代表社員	潮田平四郎
煙草元賣捌合名會社	四十一年五月十九日	三萬圓	一萬五千圓	土浦町	全	香取友三郎
新治石油販賣合名會社	四十二年四月七日	一萬圓	半額	全	全	同
永井醬油合名會社	四十二年四月十四日	一萬圓	全額	全	全	永井長三郎
カーバイト販賣合名會社	四十二年六月十三日	一萬圓	千九百圓	全	全	檜戸松男
合名會社尾形吳服店	四十三年十月廿六日	二萬圓	全額	全	全	尾形德兵衛
豐崎合名會社	三十九年十月十一日	一萬五千圓	全額	新治村	全	豐崎嘉助
高濱倉庫合名會社	四十年九月廿一日	一萬圓	七千圓	高濱町	全	羽成卯兵衛
新治元賣捌合名會社支店	四十一年五月廿五日	二萬圓		石岡町	全	磯野定吉
笹久運送合名會社	四十一年九月十一日	千四百圓		高濱町	全	吉田滋夫
合名會社石岡協同製糸所	四十二年十月十一日	二千圓		石岡町	全	福地彦次郎
合名會社熊岡製糸所	四十三年四月十一日	五千圓		全	全	熊岡峰次

將
來
之
部

合名會社柴沼商店	四十二年一月十三日	三	萬	圓	全	額	藤澤村	代表社員	湖田平四郎
煙草元賣捌合名會社	四十一年五月十九日	三	萬	圓	一萬五千圓	額	土浦町	全	香取友三郎
新治石油販賣合名會社	四十二年四月七日	一	萬	圓	半	額	全	全	同人
永井醬油合名會社	四十二年四月十四日	一	萬	圓	全	額	全	全	永井長三郎
カーバイト販賣合名會社	四十二年六月十三日	一	萬	圓	千九百圓	額	全	全	檜井松男
合名會社尾形吳服店	四十三年十月廿六日	二	萬	圓	全	額	全	全	尾形德兵衛
豐崎合名會社	三十九年十月十一日	一	萬五千圓	全	額	全	全	全	豐崎嘉助
高濱倉庫合名會社	四十年九月廿一日	一	萬	圓	七千圓	額	全	全	羽成卯兵衛
新治元賣捌合名會社支店	四十一年五月廿五日	二	萬	圓			石岡町	全	磯野定吉
笹久運送合名會社	四十一年九月十一日	千	四百圓				高濱町	全	吉田滋夫
合名會社石岡協同製糸所	四十二年十月十一日	二	千圓				石岡町	全	福地彦次郎
合名會社熊岡製糸所	四十三年四月十一日	五	千圓				全	全	熊岡峰次

將來之部

第一章 總論

事物ノ變遷ハ人文ノ發展ニ伴ヒ日ニ進ミ底止スルトコロヲ知ラズ此ノ時ニ方リ將來ノ方針ヲ確定シ進行スベキ順路到達スベキ目標ヲ定メントスル固ヨリ容易ノ業ニアラズ然リト雖社會萬般ノ事業ハ豫メ計畫ヲ樹テ其嚮ヲ所ヲ定ムルニアラズンバ恰權針盤ナキ船舶ノ大洋ニ漂フカ如ク遂ニ目的地ニ達スル能ハサルベシ一郡ノ施政亦然リ是レ郡是確立ノ必要ナル所以ナリ

抑郡是ノ目的トスル所地勢氣候人情風俗ノ真相ヨリ人文ノ變遷消長ニ至ルマテ精細緻密ニ通觀シテ之カ斷定ヲ愆ラズ以テ郡ノ實力ヲ豐富ナラシムルニ足ルベキ事業及物産ノ進歩發達ヲ促ガシ各其ノ嚮ヲ可キ針路ノ存スル所ヲ自覺セシムルニアリ故ニ郡是トハ必ラズシモ奇拔ナル計畫嶄新ナル事業ヲ興サシムルノ謂ヒニアラズ蓋新事業ハ幾多ノ討究實驗ヲ待ツニアラズンバ往々踉蹌齟齬ノ實例ニ乏シカラズ本調査亦茲ニ鑑ミルアリ個有物産ノ改善發達容易ニシテ而カモ収拾シ得ベキ遺利ノ大ナルモノヲ撰擇シ新事業ハ之ニ關聯セルモノノミニ止メタリモシ夫レ郡民相一致シテ此ノ方針ニ遵由シ奮勵努力セバ本郡ノ福利ヲ増進シ自治並ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル疑ナカルベシ以下章ヲ別チ項ヲ逐ヒ述ヘントス

第二章 交通運輸

地方ノ富源ヲ開發シ殖産工業ノ進歩發達ヲ圖ランニハ交通運輸機關ノ整備ヨリ先ナルハナシ而シテ此ノ機關タルヤ鐵道道路郵便電信電話船舶車馬ノ如キハ勿論附屬機關トシテ運送倉庫宿屋等ニ至ルマテ施設セラル、ニアラサレバ交通運輸ノ機關完成セリト云フベカラズ

本郡ニ於ケル交通運輸ノ機關ハ現況調査ニ示スカ如ク約十六哩ノ鐵道ハ南北ニ貫通シ縣道及里道ハ縱横ニ達シ尙霑浦航路ノ

便ヲ有シ通信機關トシテハ十三ノ郵便局アリ内四局ハ電信及電話ヲ加設セラレ其他運送倉庫宿屋ニ至ル迄適當ニ配置セラレ一見稍備ハレルカ如シ然リト雖道路ハ未タ充分アラサルモノアリ現ニ縣道ノ如キ其名ノミニシテ未改修ニ属スルモノアリ其他樞要里道ニシテ修繕ノ足ラサルモノアリ雨雪ニ際シテ泥濘脛ヲ没シ殆通行ヲ杜絶スルコトアリ故ニ本郡ノ交通機關中改善ノ要且急ナルモノハ道路ノ修繕ニアリトス

第一 縣道

縣道ハ現時十四線延長約二十五里ニ亘ルト雖眞鍋安飾間柿岡園部間柿岡小櫻間及栗原九重間ノ四線ハ其名ノミニシテ未タ改修ヲ加ヘサルタメ荒蕪頽廢シテ僅ニ一地方人民ノ通行路ニ止マリ縣道トシテ其實ナキモノトス若本線ノ改修ヲ見シカ人馬ノ行通貨物ノ運輸ニ多大ノ利便タルノミナラズ郡治上ニ及ホス裨益尠カラザルベシ故ニ之カ改修ハ最急ヲ要スルモノナルヲ以テ其筋ニ建議セント欲ス

第二 重要里道

現今重要里道ト稱スヘキモノハ七線延長約二十三里ニシテ内改修工事ヲナシタルモノ甚少ナク縣費ノ補助ニヨリ一局部ノ修繕ヲ加ヘタルニ過キス其他ハ雜草蓬々トシテ僅ニ沿道住民ノ踪跡ヲ存スルノミ曷ソシテ地方ノ富源ヲ開發スルヲ得ベケンヤ宜シク其重否緩急ヲ圖リ町村財政ノ程度ニ鑑ミ漸次改修ヲ加フルヲ要ス而シテ將來是等樞要里道ノ一部又ハ全部ヲ郡ノ直營ニ移スコトヲ得バ完全ニ保全スルヲ得テ地方一般ニ便益ヲ與フル尠カラザルカ故ニ他日是等ノ方法ヲ研究セントス

第三 里道

元來町村ノ里道ハ町村制施行ノ當時舊町村カ其区域内ニ存スル道路橋梁ハ其部落ニ於テ之ヲ修繕スルノ條件ヲ以テ從來所有セシ土地ヲ其儘留保セシモノナルヲ其部落有財產ナルモノハ適法ナル管理ノ下ニ之ヲ利用セサルタメ次第ニ収益ヲ減シ甚シキニ至リテハ僅ニ公課ヲ處辨スルニ過キササルモノアルニ至レリ從テ里道及橋梁ノ如キモ當初ノ目的ヲ達スコト難ク漸ク緩慢

ニ附シタルヲ以テ或ハ隣地ノ耕作者ニ侵害セラレ或ハ泥土塵芥ヲ堆積シ次第ニ荒廢ニ歸セシモノ少カラズ其後部落有財產ノ統一セラレタルモノハ協議費ヲ以テ支辨シツ、アリト雖單ニ部落ノミニ委任スルトキハ稍等閑ニ附スルノ傾向アリ斯ノ如キ状態ナルヲ以テ其町村全体カ利害ノ關係ヲ有シ且交通ノ頻繁ナルモノハ之ヲ町村ノ經營管理ニ移シ其他ノ里道ハ舊慣ニ依リ沿道部落又ハ接續地ノ關係者ヲシテ修繕セシムルノ適當ナルヲ認ム

第三章 人情風俗ノ改善

由來我國氏ハ一般ニ自治ノ氣風缺乏シ公德ノ觀念薄弱ニシテ之ヲ歐米諸國ニ比スレハ著シキ低位ニアリ之レ一ハ古來ノ習慣政度ノ相違ヨリ來レルト一ハ宗教並教育ノ思想カ私德ノ方面ニ編倚シタルトニ因ル而シテ今ヤ戰勝ノ反響トシテ人心浮薄ニ流レ華美ニ趨リ或ハ投機心ヲ助成シ一攫千金ヲ獲得セントシテ却テ家産ヲ傾倒スルモノ輩出スルニ至レリ本郡モ亦此ノ影響ヲ被ルコト鮮ナカラサルカ如シ幸ヒニ戊申詔書ノ煥發セラル、アリテ大ニ民心ノ覺悟ヲ促シタリト雖尙進ンテ矯正ノ策ヲ講スルニ非スンハ前途測リ知ルヘカラサルモノアリ夫レ人情風俗ノ良否ハ即國郡町村ノ消長興廢ノ素因タリ若人情風俗ニシテ改善セラレサルトキハ如何ナル良法名案モ施入ニ途ナク從テ郡是ノ確立モ終ニ徒法ニ歸センノミ而シテ之カ改善ノ方法ハ固ヨリ一ニシテ足ラスト雖モ左ノ諸項ハ目下ノ弊風ヲ矯ムル最良ノ策ナリト信ス

- 一 教育ニ關スル勅語並ニ戊申詔書ノ御趣旨ノ貫徹ヲ期スルコト
- 二 公德私德ノ養成及自治心ノ振興ニ勗ムルコト
- 三 郡民ヲシテ我カ帝國及本郡財政ノ現況ヲ知悉セシメ華美ヲ飭メ勤儉治産ノ途ヲ講セシムルコト
- 四 時代ノ要求ニ鑑ミ共同事業ヲ獎メ福祉ノ増進ヲ圖ルコト
- 五 各町村ニ青年會、夜學會、講習會其他諸種ノ獎善團體等ノ機關ヲ設ケテ地方一般ノ民育教化ヲ謀リ且公共ノ精神ニ基ケル事業ノ發展ヲ促スコト

第四章 農業

現況調査ニ示スカ如ク農業ハ本郡唯一ノ産業ニシテ之カ盛衰ハ本郡ノ經濟ニ多大ノ影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ斯業ノ改良發達ヲ圖ルハ焦眉ノ急務ナリトス依テ既往ノ成績ニ徴シ現在ノ狀態ニ鑑ミ將來準據スベキ適切ナル方策ヲ定メントス以下序ヲ述ベシ

第一 勞力ノ削減

本郡農家ノ一戸當耕作反別ハ田六反貳畝拾四步畑七反貳畝拾五步ニシテ比較的耕地多キノミナラズ尙進シテ開拓スベキ餘地多シ然ルニ近年養蠶發達ノ結果益勞力ノ缺乏ヲ告ケルモノ、如シ夫レ農事ノ改良ト云ヘ副業ノ獎勵ト云ヘ一トシテ勞力ノ素因タラサルハナシ若シ勞力ニシテ豊富ナラズトセンカ各種ノ改良事項ハ徒ニ空論ニ陥リ遂ニ實行ヲ見ル能ハス實ニ勞力ノ不足ハ改良事業ノ根源ナリ而シテ之カ補充ノ策トシテ左ノ二項ヲ採ルノ最適當ナルヲ認ム

(甲) 牛馬耕ノ獎勵

(乙) 農具ノ改良

(甲) 牛馬耕ノ獎勵

本郡ノ農家ハ一般ニ勞力ノ不足ヲ啣ツト雖進シテ之レカ補充ノ途ヲ講スルモノ少ナキハ慨歎ノ至リナリ四十二年ニ於テ牛馬耕ヲナシタル反別ハ僅ニ田百三十九町畑四百六十八町ニシテ田ハ總反別ノ六十七分ノ一畑ハ二十三分ノ一ニ過キス而シテ殘餘ノ耕地ハ馬耕ヲ使用スルニ不適當ノ土地ノミナリト言ハンカ小部分ハ絕對ニ不可能ナルベシト雖適當ナル場所累々トシテ横ハレルヲ見ル況ンヤ今後耕地ノ整理土地ノ改良ヲナスニ於テヤ抑勞力ノ省減ヲ圖ルニ牛馬ニ如クモノナシ今人力ト畜力トヲ比較スルトキハ土地ヲ耕起スルニ當リ一人一日ノ工程ハ田五畝步畑ハ三畝步ナルモ馬ハ六倍牛ハ五倍ヲ優ニ耕起スルヲ得ベシ是シ從來ノ經驗ニ徴シテ明ナリ然レトモ之ヲ使役センニハ一人ヲ要スルヲ以テ結局馬ハ五倍牛ハ四倍ニ相當ス若シ仮リ

ニ耕地整理土地改良等ノ結果ニヨリ本郡田畑面積ノ四分ノ三ヲ馬耕ヲナシ得ルモノトシ田ハ三回畑ハ一回耕起スルモノトセバ差引田ニ於テ三十四萬六千三百四十七人畑ニ於テ十七萬二千六百二十九人合計五十一萬八千九百七十六人ノ勞力ヲ削減スルヲ得ベシ果シテ然リトセバ今日耕地面積ノ廣大ヲ稱フルノ地モ一轉シテ其狭少ヲ叫ブニ至ルベク延テ副業並ニ農事ノ改良ニ努ムルノ餘力ヲ生スルヲ得ベシ畜力ノ効用豈ニ偉大ナラズトセンヤ依テ左ノ方法ニヨリ牛馬耕ノ普及ヲ獎勵セント欲ス

(一) 牛馬ノ飼養ヲ獎勵スルコト

(二) 本郡ニ技術員ヲ置き之ガ傳習指導ニ當ラシムルコト

(乙) 農具ノ改良

作業ハ總テ勤勞ニアル固ヨリ論ナシト雖人間ノ勞力ニハ制限アルモノナレバ器械力ノ利用ニヨリ工程ヲ進ムルニ努メサルベカラズ然ルニ郡内ニ使用セラル、農具ハ大抵在來ノモノニシテ改良セラレタルモノアルヲ見ズ今改良ヲ要スベキ重ナル器械ヲ擧クレバ良耙除草器等ナリトス良耙ハ耕土ヲ粉碎スルニ必要欠クヘカラサルモノニシテ馬ヲ以テ之ヲ使用スルトキハ人力ノ七八倍ヲ爲シ得ベシ除草器モ構造種々アリト雖大抵赤手ノ三四倍ヲ下ラズ徒ラニ舊套ヲ襲ヒ全身汗ニ塗レ勞力ヲ叫ブノ秋ナランヤ依テ耕耘ノ改良ヲ圖ランカタメ左ノ方法ヲ執ラントス

(一) 郡町村制又ハ各農會ハ毎年委員ヲ派遣シ文明的耕耘法ヲ視察セシムルコト

第二 土地改良

土地ハ農業ノ基礎ヲナスモノニシテ土地ノ良否ハ直ニ農業ノ盛衰消長ニ關ス故ニ土地ノ改良ハ農業發達上最緊要ノ事ナリトス然ルニ本郡ノ地味ハ田畑共ニ概シテ肥沃ニシテ瘠薄ノ地少ナシト雖田ハ重ニ濕地ニシテ乾田少ナシ是レ現況ノ部ニ述ヘタルガ如ク低窪ニシテ絶体ニ乾燥セサル場所アルベシト雖大凡ハ勞力ヲ削減セント欲シ却テ不斷灌水セントスルニ因ラサルハナシ抑稻田ノ排水充分ナラサルハ單ニ風化作用ヲ阻害シ肥料ノ吸収力ヲ妨クルノミナラズ品質ヲ粗惡ナラシムルモノナリ且

牛馬耕ヲ使用スルニ際シテモ頗ル困難ヲ極ム故ニ耕地ハ力メテ乾燥セシムルヲ要ス而シテ本部ノ水田ハ多大ノ費用ヲ投シ根本的耕地ノ整理ヲ施行セサルモ簡易ナル方法ニヨリ容易ニ乾燥セシムルヲ得ルノ地多シ依テ左ノ方法ニ依リ其目的ヲ達セントス

- (一) 簡易ナル暗渠ヲ設ケ排水ヲ充分ナラシムルコト
- (二) 畑地ノ交換分合ヲ行ヒ區劃ヲ整ヒ以テ牛馬耕使用ニ便ナラシムルコト

第三 肥料ノ改良

肥料ハ農業資本中最重要ナルモノニシテ其ノ選擇施用ノ適否ハ收益上直接ノ影響ヲ及ホスモノナレバ之カ資本ハ可成的節約スルヲ要スト雖地方ヲ維持シ益多量ノ收穫ヲ獲ンニハ之ニ伴フベキ施肥ノ必要ナルハ論ヲ俟タス然レトモ自家製造ノ肥料ヲ施用シテ可ナルニモ不拘多額ノ販賣肥料ヲ購入シ或ハ肥料ノ選擇ヲ誤リテ不經濟ナル肥料ヲ施用スルガ如キハ策ノ得タルモノニ非ス然ルニ本部ニ於ケル肥料需用ノ状態ヲ觀ルニ金肥ノ購入價格ハ實ニ五十六萬九千三百八十五圓ニシテ綠肥栽培ノ如キハ僅ニ廿五町歩ニ過キス堆肥ニアリテモ山林原野多ク材料豐富ナルニモ不拘是又僅少ノ感アリ經濟上ノ不利何ソ夫レ甚シキヤ肥料ノ改良ハ農業經濟ノ進歩ヲ圖ル魁ナリ依テ今後獎勵スヘキ事項ヲ定ムル左ノ如シ

- (甲) 綠肥栽培ノ獎勵
- (乙) 堆肥製造ノ獎勵
- (丙) 金肥ノ共同購入並ニ選擇配合ノ改良

(甲) 綠肥栽培ノ獎勵
綠肥ハ堆肥ト共ニ基本肥料トシテ重要ナルノミナラズ亦經濟上利益ノ最多キモノトス田地ニ二毛作トシテ麥又ハ菜種ヲ栽培セシヨリハ本部ノ如キ畑地ノ割合ニ多キ地ニアリテハ寧ろ紫雲英等ノ綠肥ヲ栽培スルヲ勝レリトナス然ルニ本部ニ於ケル現今

田地ノ状態ハ大部分濕地ニシテ紫雲英栽培ニ適當ノ地少ナシト雖前項ニ述ベタルカ如ク排水ヲ充分ナラシメ或ハ初年ニ菜種ヲ移植シ又ハ豌豆蠶豆等ヲ播種シ漸次土地ノ改良ヲ圖ルトキハ數年ナラスシテ適當ナル地ヲ産ミ出スヲ得ベク斯クシテ郡内ノ水田九千三百十町歩ノ内二十分ノ一即四百六十五町五反歩ニ對シ年々紫雲英ヲ栽培シ一反歩平均五百貫目ノ産額ヲ得ルトセバ其収量ハ二百三十二萬七千五百貫トナルベシ一反歩三百貫ヲ使用スルモノトセバ實ニ七百八十四町八反歩ニ施用スルニ足ルベキ稻作基本肥料ヲ得ベキ計算ナリ今紫雲英ト鱈粕トノ成分ヲ比較スルトキハ

鱈	粕	室	素	燐	酸	加	里
十	貫	目	九	百	七	十	匆
三	百	貫	目	一	貫	匆	二
百	貫	目	一	貫	匆	二	百
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二
匆	百	貫	目	一	貫	匆	二

右ノ表ニ就キ見ルトキハ紫雲英ニ窒素及加里成分多キモ磷酸分少シ磷酸二百匆ノ不足ハ窒素加里ノ過剩ニテ補フヲ得ルヲ以テ紫雲英三百貫目ノ價值ハ鱈粕十貫目ニ相當スト見ルヲ得ベシ此ノ比較ヲ以テスルトキハ右ノ收量ハ鱈粕七萬七千五百八十三貫目ニ當リ鱈粕十貫目四圓二拾錢トスレバ三萬二千五百八十五圓ノ價格ヲ有ス而シテ之ニ要スル種子代ハ一反歩ニ付二升五合トシ百十六石一石金三十圓トシ三千四百八十圓ヲ差引クモ二萬九千五百圓ノ利益ヲ得ベシ以上ハ無肥料トシテノ計算ナレバ之ニ肥料ヲ施シ且管理宜シキヲ得バ一反歩當六百貫ノ收穫ヲ得ル難キニ非ス故ニ肥培ノ方法ヲ説明スルノ要アリト雖浩澁ニ涉ルヲ以テ他日ヲ期シ之カ普及ノ方法ヲ設ク即左ノ如シ

- (一) 郡若クハ郡農會ニ於テ紫雲英ノ種子ヲ購入シ無代配付ヲナスコト
- (二) 町村篤農家ヲシテ試作ヲナサシメ漸次普及ヲ圖ルコト

(乙) 堆肥製造ノ獎勵
堆肥ハ基本肥料トシテ綠肥ト共ニ肥料經濟上極メテ緊要ナルモノナリ本部ニ於ケル堆肥ノ製造ハ累年増加シツマアリト雖本

郡ノ如キ材料豊富ノ地ニアリテハ尙製造ノ餘地充分ニ存スルヲ認ム殊ニ堆肥舍ノ如キモ其數僅少ニシテ專業農家戸數ノ四分五厘強ニ過キス其製造方法モ甚幼稚ニシテ徒ニ屋内ニ堆積シテ切リ返シテ行フモノ稀ナリ其他ハ屋外ニ堆積シテ雨ニ曝ラシ或ハ運搬ニ先チ特ニ日光ニ晒ラシ乾燥セシムルカ如キ成分ノ流失發散等毫モ意ニ介セサルモノ、如シ依テ生産額ノ増加ヲ圖ルト共ニ製造ノ方法ニモ大ニ改良ヲ加ヘサルヘカルサルヲ以テ將來左ノ方法ヲ採ラントス

(一) 各町村ニ堆肥製造傳習會ヲ開設スルコト

(二) 堆肥舍ノ建設ヲ獎勵センカタメ郡若クハ郡町村農會ハ豫算ノ容スベキ範圍ニ於テ補助金ヲ交付スルコト

(丙) 肥料共同購入並ニ撰擇配合ノ改良

本郡ニ於ケル肥料購入ノ方法ハ大抵各自ニ地方ノ商店ヨリ購入シ代金ノ支拂方ハ稀ニ現金支拂ノモノアルモ過半ハ秋收ノ期ニ至リ米ヲ以テ之ニ換フルヲ常トス共同購入ハ僅少ナル産業組合ニ於テ實行セラル、ニ過ギス且其種類モ重ニ不經濟ナル人造肥料魚肥米糠油粕等多ク肥料經濟ニ着目スルモノ殆稀ナリ肥料ノ共同購入ハ單ニ廉價ナルノミナラズ更ニ進シテ肥料ノ撰擇ニ與ツテ力アルモノナリ前ニ舉ケタル肥料ハ高價ニシテ且不正品多キモノナレバ寧安全ニシテ廉價ナル大豆粕過燐石灰硫酸安母尼亞等ノ優レルニ如カズ是等ハ代用肥料ト稱シ最有効ニシテ經濟的ナルハ既ニ本縣農事試驗場ノ立證スル所ナリ然ルト雖若其配合ヲ誤ルトキハ亦非常ナル損失ヲ蒙ルモノナレバ宜シク地質並ニ作物ニヨリ適當ナル配合ヲ要ス依テ左ノ如キ方法ヲ定ム

(一) 産業組合ヲ獎勵シ共同購入ノ方法ニ依ラシムルコト

(二) 肥料ノ撰擇並ニ配合ニ關スル智識ヲ涵養センカ爲メ便宜ノ場所ニ講習會ヲ開催シ又ハ簡易ニ説明シタル印刷物ヲ配付スルコト

第四 米作ノ改良

米ハ本郡唯一ノ產物ニシテ之カ豊凶ハ郡ノ經濟ニ多大ノ影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ改良發達ヲ促スハ焦眉ノ急務ナリトス殊ニ一反歩ノ収量僅ニ一石七斗餘ニ過キサルニ於テヤ若今後諸種ノ點ニ改良ヲ加ヘ管理又周到ナルニ於テハ二石以上ノ収量ヲ得ル決シテ難キニ非ス以下項ヲ追ツテ之ヲ説述スヘシ

(甲) 種類ノ撰擇及統一

稻ハ其種類ニヨリ品質ニ優劣アルノミナラス收穫ニ差違アルモノナリ所謂良種ハ良種ヲ生スルモノナレハ收穫多クシテ品質ノ優良ナルモノヲ擇マサルベカラス苟種類ノ撰擇ヲ忽ニセンカ如何ニ肥料ヲ施シ勞力ヲ加フルモ遂ニ充分ノ効果ヲ収ムル能ハサルヘシ然ルニ郡内現下ノ狀況ヲ見ルニ一定ノ所信ナク恰試驗的ニ一人ニテ十數種ヲ栽培スルモノアリ又ハ一反歩ノ區域内ニ二三種ヲ混植スルモノアリ斯ノ如クナルヲ以テ收納ニ際シテモ粒形色澤其他品質ノ不同ナル多數ノ品種ヲ混植スルカ故ニ之ヲ精白スルニ當リ多クノ時間ヲ要シ且ツ摺耗ヲ生シ不利少ナカラス從テ價格低廉ナルヲ免レス故ニ善良ナル種類ヲ撰擇スルト共ニ品種ノ統一ヲ圖ルハ肝要ノ事ナリトス依テ左ノ事項ヲ實行セントス

(一) 良種ヲ撰定シ且種類ノ統一ヲ圖ルタメ本郡ニ採取場ヲ設ケ之カ普及ヲ圖ルコト

(二) 種子用ニハ刈取りニ先チ拔穗ヲ行ハシムルコト

(乙) 撰種法並ニ苗代ノ改良

作物ノ善惡ハ種子ノ良否ニ因ルモノニシテ善良ノ種子ヨリ發芽セシ作物ハ生育旺盛ニシテ否ラサルモノヨリ常ニ優等ノ地位ヲ占ムルハ事實ニ徴シテ明ナリ而シテ之カ撰別法トシテ塩水撰ニ如クモノナシ然ルニ之ヲ實行スルモノ少數ナルハ何ソヤ之レ他ナシ苗代ノ播種施肥ノ改良ノ伴ハサルカタメ塩水撰種ノ効果充分ニ表現セラレザル結果ニ因ル即從來苗代ニハ多量ノ施肥ヲナシ特ニ堆肥又ハ生草等ヲ用ヒ苗ヲ軟弱ニ生長セシメ加之ニ週間以上浸水シタルモノヲ俵ノママ陽乾シテ發芽セシメ一坪七八合ヲ播下シ苗ヲ徒長軟弱ニ生育セシムルニ依リ塩水撰種ハ毫モ其効ナシ故ニ塩水撰種ヲ一般ニ實行セシメンニハ苗代ノ

改良ト相伴フテ之ヲ獎勵セサルヘカラス本縣試驗場ノ成績ニ依レハ種子ハ凡一週間浸水シ苗代一坪ニ付大粒有芒ハ四合小粒無芒ハ三合ヲ適當トス且肥料ハ力メテ速効ノモノヲ使用シ移植期四五日前ニ成熟スル如クセサルヘカラスト依テ之カ獎勵ノ手段トシテ左ノ實行ヲ期ス

- (一) 町村農會ヲ督勵シテ日割ヲ定メ便宜ノ地ニ集合シテ共同的澆水撰ノ實行ヲナサシムコト
- (二) 郡若クハ郡町村農會ハ豫算ノ範圍内ニ於テ澆又ハ苦澆汁購入費ノ補助ヲナスコト
- (三) 苗代作成期以前ニ郡ハ之ニ關聯セル注意書ヲ配付スルコト

(丙) 移植法ノ改良
本郡ノ移植期ハ從來勞力ノ關係及舊慣等ニ依リ凡二十四五日間ニ亘レトモ早中共ニ適期アルモノナレハ宜シク勞力ノ分配ヲ圓滿ナラシメ以テ適當ナル季節ヲ愆ラサル様注意セサルヘカラス又從來ノ插秧ハ甚乱雜ニシテ株間ノ距離一定セス爲ニ日光及空氣ノ流通ヲ妨ケ成育充分ナラス且出穂モ一齊ナラスシテ大ニ収量ヲ減スルモノナリ加之除草ニ際シテモ不便少ナカラス殊ニ器械ヲ使用スルヲ得ザルノ不利アリ依テ左ノ方法ニ依リ之カ改良ヲ圖ラントス

- (一) 移植期ヲ愆ラサシムルタメ春蠶ノ掃立及麥ノ收穫ヲ早メシムルコト
 - (二) 正條植ノ普及ヲ圖ルタメ町村改良委員又ハ篤農家ヲシテ模範的ニ實行セシムルコト
- (丁) 除草法ノ改良
從來除草ハ大抵二回ニ止メ三回以上ヲ行フモノ少シ甚シキニ至リテハ一回ニテ止ムモノアリ是レ勞力不足ノ結果ニ外ナラス抑除草ハ單ニ雜草ヲ除去スルニ止マルモノニアラス溫熱ヲ地下ニ導キ以テ肥料ノ分解ヲ促進セシメ稻ノ成育ヲ助クルモノナレハ其回数ヲ重ヌルニ從ヒ利益大ナルモノナリ依テ今後改良ヲ要スヘキ点ヲ左ノ如ク定ム
- (一) 除草器ヲ使用スルコト

- (二) 除草ハ必少ナクモ三回實行スルコト
- (三) 害虫驅除豫防ノ勵行

(戊) 本郡ニ於ケル農家ハ一般ニ害虫驅除豫防ニ關スル觀念ハ未タ幼稚ニシテ辛フジテ郡町村又ハ各農會ノ督勵ニ依リ形式的ニ實行セラルトニ過キス是レ畢竟當時ハ春蠶ノ上簇麥ノ收穫插秧ノ準備等日モ亦足ラサルヲ以テ勞力不足ノ結果ニヨルベシト雖虫害ノ損失ヲ知ルモノ少ナキモ亦一因ナリ即早生又ハ糯ノ如キ割合ニ収量ノ多カラサル概テ虫害ノ然ラシムル所ナリ豈ニ忽諸ニ附スベケンヤ依テ害虫驅除ノ必要ヲ鼓吹シ大ニ之カ勵行ニ努メントス

- (一) 害虫驅除豫防ニ關スル講習講話會ヲ開キ其ノ智識ヲ一般ニ普及セシムルコト
- (二) 害虫驅除豫防委員ヲ郡町村ニ設ケ之カ勵行ヲ圖ルコト
- (三) 警察官吏ヲシテ一層督勵ノ任ニ當ラシムルコト

- (己) 灌溉排水上ノ改良

水稻ニ對スル灌溉排水ハ極メテ肝要ナルコトナルモ本郡農民ハ一般ニ自然ニ放任シ意ヲ管理ニ注クモノナキハ遺憾トスル所ナリ排水不良ノ濕田ニアリテハ氣溫ノ透過惡シキタメ肥料ノ分解遲緩ナルニヨリ稻ノ成育不良ナルノミナラズ品質ヲ粗惡ナラシムモノナリ之ニ反シ灌溉排水ヲ適當ナラシムルトキハ地溫ヲ高メ肥料ノ分解ヲ促シ成熟ヲ完全ナラシムルヲ以テ収量ヲ増加スルモノトス又掛ケ流シヲ行フトキハ肥料ヲ流失スルノミナラズ地溫ヲ妨ケ稻ヲシテ脆弱ナラシムモノナレバ農家ハ常ニ周到ナル管理ヲ要ス今注意スヘキ要点ヲ摘記スレバ

- (一) 表土ノ露出セサル限り可成淺水トナシ置クコト
- (二) 二回後ノ除草ヲ行ヒタル後ハ其都度少時間灌水ヲナサハルコト
- (三) 開花後ハ力メテ排水ヲ行フコト

(四) 水ノ掛ケ流シハ絶体ニ禁止スルコト
(庚) 陸稻栽培ノ改良

陸稻ハ水稻ニ比シ收穫品質共ニ劣レリト雖近年之ガ栽培ハ大ニ進歩シ旱害ヲ受クルコト少ナク品質モ佳良ナルモノヲ出スニ至レリ其粳米ハ水稻粳米ノ代用ニ供シテ遜色ナキモノアリ殊ニ糯ハ菓子ノ原料トナストキハ水稻糯ニ優ルトコロアルヲ以テ需用多シ而シテ四十二年ニ於ケル作付反別ハ千九百餘町ニシテ毎年増加ノ傾向アリト雖收穫高ハ一反歩平均僅ニ七斗一升餘ニ過キス實ニ痛歎ニ堪ヘサルナリ之レ勞力不足ノ結果播種中耕除草等粗雑ニ失シ加フルニ肥料ノ不足並ニ配合ノ適當ナラサルニ基因スルモノニシテ之カ改良ヲ加フベキ餘地多シ若シ施肥管理其ノ宜シキニ適ハバ一石五斗以上ノ收穫ヲ見ル決シテ難キニアラズ農作物中改良ヲ加フベキモノ多々アルヘシト雖二倍以上ノ増収ヲ求ムルヲ得ルモノ蓋陸稻ヲ措ヒテ他ニアラサルベシ當業者タルモノ奮起セスシテ可ナランヤ依テ之カ改良ヲ圖ラシガ爲メ左ノ方法ヲ採ラントス

- (一) 郡ハ講習會講話會等ヲ開キ或ハ實地指導ヲナシ以テ改良ノ實ヲ舉クルコト
- (二) 郡及町村ハ採種場ヲ設ケ或ハ種子ノ交換ヲ行ハシメ良種ノ普及ト統一トヲ圖ルコト

第五 麥作ノ改良

麥ハ本郡農産物中米ニ亞ケル重要産物ニシテ之カ改良增收ヲ圖ルハ肝要ノ事ナリトス四十二年ニ於ケル畑ノ收穫大麥ハ一反歩平均一石四斗八升三合小麥八斗八升一合裸麥ハ一石八升一合ニシテ前數年ニ比シ著シキ減収ナリ是レ畢竟氣候適順ナラサリシ結果ニ因ルト雖撰種施肥栽培其他收納ノ方法等適當ナラサリシモ其一因タラスンバアラズ以下將來改良スヘキ要點ヲ摘記セン

(甲) 撰種法ノ改良

麥類ノ種子モ亦塩水撰ニ依ルヲ宜シトス塩水撰ハ單ニ善良ナル種子ヲ得ルノミナラス之ニ依リ裸奴菌ノ幾分ヲ驅除スルヲ得

ヘシ殊ニ塩水撰ヲ爲サザルトキハ多量ニ播種セサル可カラサルノ不利アリ然ルニ從來本郡ニ於テ塩水撰ヲ爲スモノ極メテ寥寥タルヲ以テ本法ノ普及ヲ圖ルハ麥作改良上緊要ノ事項ニ屬ス而シテ之カ獎勵方法トシテハ米作ノ方法ニ準スルコトトス

(乙) 播種ノ改良

本郡ニ於ケル麥ノ播種ハ一般ニ遅ク且其量極メテ多シ又前作物ノ關係等ニヨリ整地ヲ行ハスシテ播種スルモノアリ故ニ勞力ヲ潤澤ナラシメテ整地シタルノ後播下スル様心懸ケサルヘカラズ而シテ塩水撰ヲナシ播種期ヲ早ムルトキハ分蘖並ニ生育旺盛ナルヲ以テ一層播種量減少セサルヘカラス本縣農事試驗場ノ成績ニ依レハ大麥ハ一反歩平均四升乃至五升小麥及裸麥ハ三升乃至四升ヲ適量トス斯ノ如クスルトキハ成熟期ヲ早メシムルヲ以テ收穫ニ際シテ梅雨期ニ遭遇スルノ虞ナク且勞力ノ調和ヲ計リ得ルヲ以テ總テニ及ホス裨益少カラサルヘシ

(丙) 肥料ノ改良

肥料ハ作物ニ於ケル食物ニシテ之レカ過不足ハ直ニ病害ヲ醸シ又ハ發育ヲ不良ナラシムルモノナレバ肥料撰擇配合ハ最注意セサルベカラス先ツ一般施肥ノ狀況ヲ見ルニ新鮮ナル厩肥又ハ山草水藻等ヲ耕起ノ際鋤込ムモノアリ又播種ニ際シテ腐熟セル厩肥堆肥等ヲ施シ金肥トシテ過燐酸石灰米糠大豆粕等ヲ施用スルモ何レモ皆少量ナリ其資本ノ欠乏セル者ニ至リテハ元肥ヲナサス追肥トシテ僅ニ數荷ノ稀薄ナル人糞尿ヲ施スニ過キサルモノアリ是皆收穫ノ饒多ナラサル原因ナリ若肥料ノ配合ヲ適當ナラシメ充分ナル施肥ヲナサバ優ニ二三割ノ増収ヲ得ベシ然リト雖濫リニ多量ノ肥料ヲ施ストキハ病害ヲ醸シ且収支相償ハザルヲ以テ土地ノ肥瘠ニヨリ大ニ斟酌セザルベカラス今本縣農事試驗場ニ於ケル麥作一反歩當最有利ナル肥料ノ程度及其配合法ヲ記シ參考ニ供スルヲ以テ當業者ハ地方ニ鑑ミ酌量アラントヲ望ム

大 麥 (堆肥二百貫人糞尿百貫大豆粕五貫硫酸安母尼亞二貫四百六十匁過燐酸六貫五百匁葉灰五貫) 此金肥價格五圓收量三ヶ年平均三石二斗價格十六圓差引十一圓ノ利益

小 麥 (堆肥百五十貫人糞尿百貫大豆粕五貫過燐酸石灰六貫葉灰七貫) 此金肥價格四圓三ヶ年平均收量二石一斗二升價格十六圓九十六錢差引金十二圓九十六錢ノ利益

(丁) 麥奴豫防ノ勵行

從來麥奴豫防法ヲ施行スルモノ少ナク全ク自然ニ放任シ置クヲ以テ爲ニ收穫ヲ減損スル少シトセズ而シテ之カ豫防ノ方法數多アリ(一)冷水温湯浸法ト稱シ種子ヲ清水ニ浸スコト七時間ニシテ種子ヲ箒ニ移シ之ヲ華氏百廿二度ノ温湯ヲ盛りタル桶中ニ浸スコト凡二三分ナルトキハ種子ハ充分ニ温マルヲ以テ此時箒ト共ニ直ニ之ヲ華氏百卅二度ノ温湯ヲ盛りタル桶中ニ浸スコト五分間ニシテ箒ヲ引キ上ケ手早ク多量ノ冷水ヲ注キテ種子ヲ冷却セシメ後日陰ニ於テ薄ク蓆上ニ擴ケ乾燥スルニアリ(二)冷水陽乾法ト稱シ盛夏ノ候炎天ヲ見計ヒ種子ヲ清水ニ浸スコト二晝夜ニシテ取出シ之ヲ薄ク蓆上ニ擴ケ炎天ニ乾シテ以テ附着セル黴菌ヲ殺スニアリ(三)木灰一升ニ熱湯二升ノ割合ヲ以テ注キ上澄液ヲ取リテ之ニ二晝夜種子ヲ浸シ後蓆上ニテ陰乾シトナスニナリ以上最有効ナルハ第一ノ冷水温湯浸法ニシテ同法ニ依ルトキハ絶体ニ能ク麥奴ヲ未然ニ防キ収量ヲ増加セシムルヲ得ベシ

(戊) 收穫及乾燥ノ改良

麥ノ收穫期ハ恰梅雨ノ季節ニ際會スルヲ以テ其方法ニハ最意ヲ用ヒサルベカラズ然ルニ從來畑中ニ刈リ放シト爲シ置クヲ以テ霖雨ニ遭遇セバ品質ヲ墜シ腐蝕ヲ生シ甚シキニ至リテハ發芽サヘスルコト珍シトセス是等ハ重ニ刈リ遅レノ爲メ斯カル災厄ニ逢着スルモノナルヲ以テ可成早刈リトナシ麥架ニ架ケ乾燥セシムルヲ要ス又中ニハ大麥ノ燒キ落シヲナスモノアリ之レ品質ヲ粗悪ナラシムルノミナラズ収量ヲ減損スルモノナルガ是等ハ勞力不足ノ結果手數ヲ省略セントノルノ意ニ出ツルモノナルヲ以テ勞力補充ノ途生スルニ從ヒ跡ヲ絶ツニ至ルベシ依テ今後麥架ノ普及ヲ獎勵セントス

- 以上麥作ノ改良法ヲ實行センカ爲メ左ノ方法ヲ執ルモノトス
- (一) 播種期播種量施肥其他管理收納等ノ完全ヲ期センカ爲メ講習又ハ講話會ヲ開キ或ハ印刷物ヲ配付シ之カ實行ヲ期スルコト

第六 大豆作ノ改良 附小豆

大豆ノ栽培ハ年々幾分減退シツ、アリト雖尙夏作中ノ首位ヲ占ム醬油味噌ノ原料トシテ多ク消費セラレ、モ輸出ノ額亦少カラズ從テ之カ改良增收ヲ圖ル緊要ノ事ナリトス

(甲) 栽培上ノ改良

從來大豆ハ肥料ヲ要セサル作物ト稱シ施肥スルモノナカラシガ近年過磷酸石灰ノ普及ト共ニ多少ノ磷肥ヲ施スモノアルニ至レリ元來ハ大豆ハ葉面ヨリ空氣中ノ遊離窒素ヲ吸收スト雖播種ニ際シ元肥トシテ窒素分ヲ施ストキハ非常ナル効果アルモノナリ殊ニ本郡ノ如キ小麥ヲ多ク栽培スル地方ニアリテハ早播ヲ避ケ播種ニ當リ過磷酸石灰硫酸安母尼亞草木灰等ヲ堆肥ニ混シ施用スルトキハ生育結實共ニ良好ナリ故ニ假令瘠地ニアラスト雖多少ノ元肥ヲ施スヲ要ス今本縣試驗場ニ於ケル大小豆一反歩當リノ最有利ナル肥料ノ程度及配合法ヲ掲ケ參考ニ資セン

大 豆 堆肥百貫過磷酸石灰五貫安母尼亞一貫木灰五貫此總價金二圓二十九錢
四ヶ年平均収量一石五升七合此金十圓五十七錢差引利益八圓廿八錢

小 豆 堆肥七十五貫過磷酸石灰五貫草木灰五貫此總價金一圓四十七錢五厘
五ヶ年平均七斗五升此金九圓卅七錢五厘差引利益七圓九十錢

(乙) 收穫及調製ノ改良

大豆ノ收穫期後ル、トキハ霖雨ニ際會シ紫色ニ變スルモノナリ本郡ハ概シテ採收遅レ爲ニ霖雨ニ遭遇シテ變色シ品質ヲ失墜スルモノ多シ且調製ニ當リテモ土打トナスモノアリ是等ハ濕氣ヲ吸收シ色澤ヲ損スルノミナラズ醬油釀造用トシテ不適當ナラシムルモノナリ故ニ調製ニ際シテハ必茲打トナシ乾燥ヲ充分ナラシメ色澤ヲ損セサル様心懸ケサルベカラズ斯ノ如クスレバ大ニ市價ヲ昂上セシムルヲ得ベシ而シテ之レカ實行方法ハ麥作ニ準ス

第七 雜穀類ノ改良

雜穀類ノ增收改良ヲ圖ルベキ餘地多シト雖產額多カラズ大抵自家用ニ止マリ利害休戚ノ關係多カラサルニ因リ之ヲ省略スル事トセリ而シテ之レカ改良策トシテハ前項ニ準ス

第八 蔬菜栽培上ノ改良

蔬菜ハ副食物トシテ需用多ク一日モ缺クヘカラサルモノナルニ不拘從來自家用トシテ栽培スルニ過キサリシヲ以テ之カ栽培法モ幼稚ナリシガ社會ノ趨勢ハ蔬菜ノ需用ヲ著シク増加シ之カ栽培モ亦有利ナルニ着眼シ市場ニ接近セル村落ハ爭フテ栽培者ヲ出スニ至レリ從ツテ其方法モ大ニ進歩シ種類モ優良ノモノナキニ非ス殊ニ園部村地方ハ胡瓜茄子等ノ促成栽培ヲナシ遠ク東京方面ニ輸出シ非常ナル利得ヲ獲ルモノアリ然レトモ一般ヨリ觀察スルトキハ尙改良スベキ餘地アルヲ認ム元來蔬菜栽培ハ極メテ有利ナル事業ナルモ供給過多ナレバ他ノ產物ニ比シ特ニ價格低廉タルヲ免レス爲ニ供給者ノ利益ヲ減殺スルハ當然ノ事ナルヲ以テ之カ栽培ニ從事セントスル者ハ各市場ニ就キ充分ノ精査ヲ遂ケ需用ニ適應スベキ品種ヲ撰擇シ且之カ販賣方法ヲ講究セサルベカラズ是レ販賣ヲ目的トスル栽培者ノ一顧ヲ要スル所ナリ又自家用ニ供スル者ニアリテハ前者ニ比シ一籌ヲ輸セサルヲ得ス若シ是レ種類ヲ撰擇シ肥培ノ方法ヲ改良シ收量ヲ増加スルトキハ從來ノ作付面積ヲ減シ他ノ用途ニ充ツルモ以テ需用ヲ充スニ足ルベシ依テ之カ改良策トシテ左ノ方法ヲ實行セントス

(一) 郡又ハ町村ニ共進會ヲ開催シ向上進歩ヲ圖ルコト

(二) 栽培ヲ獎勵センガ爲メ郡町村ハ販賣方法ニ就キ斡旋調査等ヲナスコト

第九 特用作物栽培上ノ改良

(一) 油 菜

油菜ハ他ノ作物ニ比シ多量ノ肥料ヲ要スルノミナラズ近來種油ノ需用大ニ減少シ價格低廉トナリタルヲ以テ前年ニ比シ利益意ノ如クナラサルガ故ニ年々產額ヲ減少スルノ傾向アリ本郡ノ如キ耕地廣ク勞力不足ナル土地ニアリテ油菜ノ如キ間作ノ出

來サル作物ヲ一ケ年ニ二作スルハ甚不經濟ナルヘシト雖田ノ裏作トシテ早種ヲ移植スルトキハ相當ノ收益ヲ得且勞力ノ分配上頗有利ナリトス殊ニ油菜ハ他ノ二毛作ニ比シ多少ノ卑濕ヲ厭ハサルヲ以テ大抵ノ土地ニ移植スルヲ得ベク濕田ヲシテ乾田ニ變セシムル最良ノ手段ニシテ一舉兩得ノ策ナリトス

(二) 烟 草

烟草ハ明治二十九年ヨリ初メテ本郡ニ栽培セラレタルモノニシテ漸次耕作者ヲ増加シ本郡南部ノ一地方ヲ除クノ外栽培セサルノ地ナキニ至レリ然レトモ元來烟草ハ集約的ノ經營ニ依ラサレバ收益薄キノミナラズ有望ナル養蠶ト業体相容レサルヲ以テ之カ獎勵ハ大ニ躊躇セサルヲ得ス況ンヤ賠償價格四十圓ニ滿タサルヲ以テ見レバ他ノ作物ニ比シ收益多シト云フヲ得サルニ於テヤ周到ナル研究ヲ重ヌルニ非スンバ輕々ニ斷スルヲ得ス

(三) 茶

茶ノ栽培ハ往年盛ニシテ製茶トシテ他府縣ニ輸出セラレタルモノナルガ養蠶業ノ進歩ニ伴ヒ漸次衰退ニ傾キ西南部ニ於ケル二三町村ヲ除キテハ僅ニ自家ノ需用ヲ充タスニ過キス從テ茶樹栽培ニ留意スルモノナク肥料ヲ施スモノ稀ナリ殊ニ園地ヲナサ、ルモノハ剪枝等ヲナサズ全ク抛擲シ置クモノ、如シ若シ此等ノ点ニ注意スルトキハ相當ノ收益アルヘキヲ以テ未タ必スシモ閑却スベキモノニアラサルヲ信ス

第十 果 樹

本郡ニ植栽セラル、果樹ノ重ナルモノハ柿梨桃梅等ナリトス大抵宅地又ハ畑ノ一隅ニ栽植シ樹園ヲナスモノハ少數ナリ而シテ柿ハ重ニ在來種ニシテ施肥整枝等ニ注意ヲ拂フモノナク從テ豊凶アルモ毫モ意ニ介セサルモノ、如シ梨桃ハ近年ノ植栽ニ係リシモノナレバ良種ニ乏シカラズ地味亦適當セルヲ以テ大ニ望ヲ屬スヘキモノアリ然リ而シテ果樹ハ撰枝害虫驅除等ニ勞力ヲ傾注セサルトキハ多大ノ損害ヲ蒙ルモノナレバ專業者ニアラサル限りハ勞力ノ分配ヲ考慮シ他作物ニ要スル勞力ヲ減

殺スルコト範圍ニ於テ經營スルヲ要ス就中梨桃ハ栽培ノ最至難ナルモノナレバ當業者タルモノ深ク思フ此ニ致シ管理ノ周到ナランコトヲ望ム

第五章 養蠶

養蠶ハ本郡ニ於ケル主要ノ副業ニシテ四十二年ニ於ケル生産高ハ一萬八千五百四十六石價格五十六萬二千三百三十八圓ニ上レリ而シテ本郡ハ畑地多クシテ能ク桑園ニ適シ氣候亦飼養ニ適當ナルヲ以テ之カ獎勵ノ方法宜シキヲ得バ如何ナル程度マテ發展センカ殆測リ知ル可カラズ然ルニ現時ノ狀況ヲ見ルニ收購不充分ニシテ未タ幼稚ノ域ヲ脱スル能ハス桑葉ノ收量モ亦寡少ナリト言ハサルヲ得ス若シ夫レ本郡ノ養蠶家カ技術ニ熟達シ安全ニ斯業ニ從事スルヲ得バ掃立枚數ノ増加ト共ニ收購ノ激増ヲ見ルヲ得ベシ果シテ然リトセバ獨本郡ノ利益ナルノミナラズ延テ我國ノ經濟界ヲ賑ハス莫大ナリト云フベシ依テ今後左ノ各項ヲ獎勵セントス

第一 桑園ノ改良

蠶業經營上經濟ノ大部分ヲ占ムルモノハ桑葉ナリ若シ桑園ニシテ荒廢シ相當ノ收量ヲ得ル能ハスンバ蠶業經濟ハ既ニ根底ニ於テ破壊セラレタリト云フヘシ故ニ其良否ハ斯業盛衰ノ岐ルル所ナルヲ以テ之カ増収ヲ圖ルハ極メテ肝要ナリ今本郡ノ狀態ヲ見ルニ一反歩ノ收葉量ハ百七十四貫ヲ得ルニ過キス是レ老樹ニ屬シタルモノアリト一ハ夏秋蠶飼育ノ勃興ニ伴ヒ濫摘シタルニモ不拘施肥耕耘不充分ナリシタメ樹勢漸ク衰弱シタルニ因ラサルハナシ若シ老樹ヲ改植シテ肥培宜シキヲ得バ二百五十貫乃至三百貫ノ收葉ヲ得ルニ難カラズ今仮リニ一反歩ニ付五十貫ツツノ增收アリトスレバ百萬貫ヲ算スルヲ得ベク原紙一枚ニ付二百貫ノ葉量ヲ要ストセバ現在ノ掃立以外ニ五千枚ノ蠶兒ヲ飼育スルヲ得ベシ故ニ桑園ノ改良ハ斯業ノ獎勵ノ第一着手ナリトス然リ而シテ桑樹ノ種類ニハ凡二百餘種アリテ各其特徵ヲ有スルモノナリ即發芽早ク稚蠶飼育ニ適當ナルモノアリ發芽稍遲キモ三四齡ノ飼育ニ適當ナルモノアリ葉質永ク硬化セズシテ壯蠶ニ適當ナルモノアリ其他特ニ秋蠶ニ適當ナルモノアリ

故ニ桑園ハ種類ノ配合ヲ能クシ收穫ノ増加ヲ圖ルト共ニ適期ニ適葉ヲ供給スルカ如ク栽培セサルトキハ大ナル不利ヲ招クモノナレバ桑園ヲ仕立ツルニハ豫メ是等ノ覺悟ナカルベカラズ之レカ改良策トシテ左ノ方法ヲ實行セントス

- (一) 改植ヲ獎勵シ兼テ種類ノ選擇並ニ配合ニ注意シ苗木ノ共同購入ヲ獎勵スルコト
- (二) 桑園共進會ヲ開催シ肥培ノ改良ヲ圖ルコト
- (三) 模範桑園ヲ設置スルコト

第二 飼育法ノ改良

養蠶ハ往古ヨリ飼育セラレタルモ豊凶ハ殆氣候ノ自然ニ一任シ人爲ヲ以テ如何トモナス能ハサルモノノ如ク思惟シ飼育ノ方法全ク粗慢ナリシガ學理ノ進歩ニ伴ヒ豊凶ハ飼育ノ術如何ニアルコトヲ知覺シタルヲ以テ研究ヲ積ミタルノ結果大ニ進歩ノ曙光ヲ放テリト雖尙舊慣ヲ墨守シ自然ノ天候ニ依頼スルモノ少シトセズ幸ニ氣候適順ナル年ニアリテハ相當ノ收購ヲ得ルモ一朝不順ノ天候ニ遭遇セバ忽失敗ノ不運ニ陥ルモノ比々皆然リトス本郡四十二年ニ於ケル春蠶ノ收購ハ蠶種一枚ニ付八斗一升九合ナリトス中ニハ一石二三斗ニ當レル者アリト雖甚シキニ至リテハ三四斗ニ過キサルモノアリ是等ハ技術ノ拙劣ナルヲ表明スルモノナリ同年ニ於ケル縣内ノ成績ヲ見ルニ春蠶ノ普通飼育者ノ收購量ハ平均一枚八斗五升三合(本郡ハ縣平均ニ劣ル三升四合)稚蠶共同飼育者ノ平均ハ一石二斗七升ニシテ庭徑ノ差アリ巧拙モ亦甚シカラズヤ若本郡養蠶家ヲシテ悉ク共同飼育程度マテ技術ヲ進歩セシムルモノト假定セバ同年ノ掃立枚數ニ於テ六千九百九十三石五斗餘ノ增收ヲ得ベク尙夏秋蠶ニ及ホストキハ其增收一層大ナルベシ此ノ外春蠶ニアリテハ桑園ノ關係等ヨリ掃立期遅クルルノミナラズ飼育期間長キヲ以テ普通農業ト努力ノ衝突ヲ來シ農事ヲ粗畧ニスルノ傾向アリ亦一面ニハ時恰梅雨期ニ際會スルヲ以テ幸ニ結繭シタルモノモ光澤惡シク解舒不良ニシテ糸量少ナク爲ニ價格低廉ナルノ不利アリ故ニ飼育法ノ改良ヲ圖ルト共ニ掃立及上簇期ヲ早メシムルハ蠶業改良上ノ急務ナリトス依テ左記事項ヲ實行シテ根本的ニ之レカ改良ヲ圖ラントス

- (一) 郡立蠶業講習所ヲ繼續シ修了後ハ地方養蠶家ノ模範タリ指導者タルベキ生徒ヲ養成スルコト
- (二) 講習會ヲ繼續シ斯道ニ關スル學理ヲ講習セシムルコト
- (三) 稚蠶共同飼育組合ノ増設ヲ圖リ飼育ノ方法ヲ會得セシメ失敗ヲ永遠ニ防キ併テ既設組合ノ存續ヲ圖ルコト
- (四) 蠶種共同貯藏組合ノ設置ヲ獎勵スルコト

第三 蠶病豫防ノ普及

凡ソ諸般ノ事業勃興スルニ伴ヒ障害ノ纏綿スルハ數ノ免レサル所ナリ養蠶業ノ如キハ殊ニ顯著ナル事例ナリトス障害トハ何ゾヤ病害即是レナリ前項ニ述フルカ如ク本郡ノ収繭量ノ平均僅ニ八斗一升九合ニ過キサル所以ノモノ其原因一ニシテ足ラスト雖蠶病ヨリ生スル障害之レカ一大原因タラスンハアラズ即蠶具蠶室等ノ消毒不充分ナル結果ニ外ナラズ惟フニ本郡ノ養蠶家ハ未タ蚕病ニ關スル觀念薄ク猶之ヲ知ルモ其實行ヲ面倒視シ途ニ等閑ニ附スルモノノ如シ故ニ蚕業ノ健全ナル發達ヲ期セシニハ蚕病豫防ノ普及ヲ圖ルヲ以テ肝要ナル要件ナリトス然リ而シテ蚕病ハ大概傳染性ノモノナルヲ以テ之カ驅除豫防ハ一個人ノ利害關係ニ止マラス實ニ公共ノ利害問題ナルカ故ニ當業者ハ自他相戒メテ實行ヲ期スルニ非スハ完全ナル目的ヲ達スル能ハス左ノ方法ヲ執ラントス

- (一) 蚕病豫防組合ヲ組織スルコト
- (二) 講習又ハ講習會ヲ開キ蚕病豫防ニ關スル智識ヲ注入スルコト

第六章 畜産

第一 牛馬

牛馬ハ農家ニ欠クヘカラサル家畜ナルヲ以テ之カ飼養ノ増加ヲ圖ルノ急務ナルハ前ニ述ブルカ如クナルト雖本郡ニハ適當ノ放牧地ナク生産ニ適セサルヲ以テ之カ蕃殖ヲ圖ルカ如キハ固ヨリ望ムヘキノ事ニ非スニ購入ニ俟ツノ外他途ナシ故ニ此ノ

目的ヲ達センカタメ左ノ方法ヲ執ラントス

- (一) 郡ハ低利ノ資金ヲ融通シテ牛馬ノ購入ヲ獎勵スルコト
- (二) 郡町村ハ牛馬共同購入ノ獎勵ヲナスコト

第二 豚

豚ハ狹隘ナル場所ニ飼養スルヲ得發達速カナルヲ以テ農家ノ飼養ニ適ス然レトモ高價ナル飼料ヲ給スルトキハ収支償ハサルヲ以テ庖厨ノ殘渣又ハ醬油粕ノ如キ至廉ノ飼料ヲ用ヒサルベカラス故ニ市街近キ農家又ハ大家畜ヲ飼養セサル農家ノ副業トシテ利アリ四十二年十二月末本郡豚ノ現在數ハ千三百五十三頭ニシテ年内ノ生産高ハ八百三十一頭ナリ概シテ体軀矮小種類雜駁ナリ今仮リニ種類改良ノ結果八百三十一頭ニ對シ一頭ノ体量平均二割(在來種ヲ十五貫ト見做ス)ヲ増加スルトセバ二千四百九十三貫ヲ増スベク一貫目六十錢ト見積レバ千四百九十六圓ヲ得ヘシ尙現ニ飼養セサル町村アルヲ以テ飼養數ヲ増シ現今生産高ノ三割二百五十頭ヲ増産スルトキハ一頭十五圓ト見積リ三千七百五十圓ヲ得ルヲ以テ結局五千二百四十六圓ノ増収ヲ得ベシ若牛馬ヲ飼養セサル農家ニハ必一頭ヲ飼養セシムルコトトセバ一層大ナルベシ依テ左ノ方法ヲ實行セントス

- (一) 在來種ヲ廢シ純粹ノ良種ヲ飼養セシムルコト
- (二) 牛馬ヲ飼養セサル農家ニハ必豚一頭以上ヲ飼養セシムルコト

第三 鶏

養鶏ハ農業ノ副業トシテ最有利ナルモノナリ大規模ノ經營ヲ爲スニハ相當ノ技能ヲ要スルヲ以テ失敗ナキヲ保シ難キガ故ニ先ツ農業ノ副業トシテ適度ニ飼養スルノ安全ナランコトヲ望ム從來ノ種類ハ甚雜駁ニシテ良種ニ乏シク一ケ年ノ産卵數僅ニ一羽平均六十四個ニ過キス若良種ヲ飼養セバ平均百二十個ノ産卵ヲ得ベシ然ルトキハ四十二年ノ成雌禽五萬七千五百五十三羽ニ對シ三百二十五百六十八個ヲ増加スルヲ以テ一個平均二錢ト見做シ六萬四千一百三十六錢ノ増收ヲ得ベシ依之觀之養

鶏ノ改良ハ一日モ忽諸ニ附スベカラサルヲ覺ユ依テ左ノ方法ニ依リ之カ改良ヲ圖ラントス

- (一) 本郡ニ家禽共進習ヲ開キ種類ノ改良ヲ圖ルコト
- (二) 郡ヨリ種卵ヲ配付シ良種ノ普及ヲ圖ルコト
- (三) 鶏卵ノ共同販賣ヲ獎勵スルコト

第七章 林業

本郡ノ民有山林ハ一萬四千五百二十五町步原野ハ九百二十三町步ナルモ植林並ニ保護既ニ適當ニ整理セラレ今後改良スベキ餘地少シ唯山根地方ノ筑波山系ニ連續セル傾斜地ニアリテ開墾セラレタルモノアルモ勞力其他収利上ノ關係等ヨリ永遠ニ維持ノ見込ナク且治水ノ關係ヨリ見ルニ是等ハ寧植林ノ得策タルヲ以テ其他地質ニヨリ適當ナル樹種ヲ植栽スルヲ要ス

第一 製炭

造林事業ハ上記ノ如ク稍間然スル所ナシト雖別産タル製炭事業ハ大ニ改良ヲ期セサルヘカラズ從來ノ製造法ハ單ニ品質ヲ粗惡ナラシムルノミナラス収炭少量ニシテ損失少ナカラズ本縣ノ獎勵セル改良法ニヨルトキハ在來法ノ一割二分乃至一割五分ノ収炭ニ對シ二割四分乃至二割七分ノ収炭率トナルヲ以テ優ニ五割以上ノ增收アルノミナラス價格ニ於テモ品質ヲ優良ナラシムルノ結果一貫目ニ付一錢ノ昂騰ヲ見ルベシ而シテ四十二年ノ製炭高二十一萬六千四百四十六貫目ノ内講習ノ結果改良法ニ依レル者三十人ト見做シ是等ノ者一人一竈ヲ有シ一竈ノ製炭量七十貫目トスレバ二千貫ニシテ一ヶ月ノ製炭回数六回トセバ此ノ貫數一萬二千六百貫之ヲ普通ノ製炭期間六ヶ月ニ通算スルトキハ七萬五千六百貫トナルヲ以テ之ヲ扣除スルトキハ十四萬八千四百六十六貫トナルベシ是即同年ニ於ケル在來法ニ依レル製炭高ナリトス若之ヲ改良法ニ依ルトキハ五割増ト見做シ七萬四千二百三十三貫目ノ增收アルベク一貫目平均十三錢トスレバ九千五百四十四圓九十九錢ヲ得ル計算ナリ尙在來法ノ製炭高ニ對シ一貫目一錢高ニ販賣スルトキハ千四百八十四圓四十六錢ノ增收アルヲ以テ合計金一萬五百六十三圓ノ利益アルベシ右ノ外

俵裝ニ關シテモ近來角俵トナスモノアルモ少數ニ過キス角俵ハ丸俵ニ比シ取扱便利ニシテ容積ヲ減シ得ルノミナラズ炭材ノ損傷ヲ防遏スルノ得策アリ從テ價格ヲ騰貴セシムルヲ得ベシ依テ本郡ハ左ノ方法ヲ獎勵セントス

- (一) 講習會ヲ繼續シ製炭改良法ノ普及ヲ圖ルコト
- (二) 俵裝ハ全部角俵ニ改良セシムルコト

第八章 水産

本郡ニ於ケル水産ノ狀況ハ既ニ現況調査ニ述フルカ如ク漁獲高ノ減少ト云ヘ漁船ノ減少ト云ヘ逐年衰頹ノ境ニアリ是レ本郡ノ漁獲トシテハ一ノ震浦アルノミニテ無盡ノ寶庫タラサルニ不拘年々濫獲セシヲ以テ遂ニ魚族ノ減少ヲ來セシニ因レリ故ニ本郡漁業ノ改良ハ漁撈ニアラズシテ魚族繁殖ノ保護策ニアリトス試ニ思ヒ主要産物タル公魚、鰕ノ如キ漁撈ノ方法稍完全ニ近ク殆酷漁ニ達セルヲ而シテ公魚ノ繁殖保護ノ取締トシテ縣令ヲ以テ一月一日ヨリ二月二十日迄採捕ヲ禁スルモ此ノ期間ハ公魚ノ産卵期ニシテ産卵場ニ群集スルモノ多ク且美味高價ナルヲ以テ密漁者多ク又一面公魚産卵場ニ於テハ介類捕獲ノため肥員ヲ使用シ攪乱シテ受精卵ヲ斃死センメ又ハ採藻ノ結果産卵場ヲ不適當ナラシメ更ニ卵化シタル稚兒ヲ大徳網帆曳網等ノ爲メ損傷ヲ與フルコト多シ鰕ノ取締トシテハ七月一日ヨリ八月三十一日迄採捕ヲ禁止シアルモ單ニ鰕全ノ如キ漁具ノミ禁止シ大徳網其他ノ漁具ヲ以テ捕獲スルハ稍等閑ニ附スルノ傾向アリ其他白魚ノ如キ介類ノ如キ其取締何レモ充分ナラズ若シ今ニシテ密漁ヲ嚴禁シ蕃殖保護ニ努ムルナクンバ遂ニ本郡ノ漁業ハ絶望ニ歸スルニ至ルベシ故ニ魚族ノ蕃殖保護ハ實ニ焦眉ノ急務ナリトス然レトモ本案ハ沿岸ノ各郡ト協力スルニアラズンバ充分ノ効果ヲ奏スル能ハサルヲ以テ詳細ナル方法ニ至リテハ別ニ研究スル所アルベシ

以上述フルカ如ク逐年漁獲ヲ減シ生産額ヲ減少スルモ根本的ニ之カ回復ヲ謀ルハ前途遼遠ナルヲ以テ水産製造ノ改良蕃殖ノ擴張ニヨリ補充ノ途ヲ講セサルヘカラス而シテ蕃殖ノ利益多キハ皆人ノ知ル處ナルヲ以テ茲ニ費スルノ要ナシト雖製造ノ改

良ハ社會ノ需用状態ト製造費トノ權衡ヲ顧慮セサルヘカヲサルヲ以テ左ノ方法ニ依リ叙達ノ實ヲ舉ケントス

(一) 郡内ニ於ケル學識經驗アルモノヲ以テ水産研究會ヲ組織シ審議ノ上改良スヘキ諸點ヲ定メ實行方法ヲ議定スル

(二) 池沼ヲ利用シ養殖ヲ獎勵スル

第九章 工業

世運ノ進歩ハ産業上ノ競争ヲ馴致シ單ニ農本主義ニノミ依リ富力ヲ増進セントスルガ如キハ至難ノ事タルヲ免レス故ニ宜シク適度ニ商工業ノ發達ヲ促シ其調和ヲ圖ラサルヘカナズ本郡ハ地ノ利商工業ニ適シ往古ヨリ盛ナリシト雖大ニ遺利ノ存スルヲ認ム以下重ナル工産物ニ就キ將來改良スベキ要點ヲ述ベントス

第一 清酒

酒類ノ製造高ハ年ニ幾分ノ増加ヲ示シツ、アリト雖之ニ反シ製造戸數ハ年々減少シ石岡町ノ十二戸ヲ最トシ總計二十九戸ニ過キス是レ小資本家ノ廢業シタル結果ニ因ル然レトモ生産高ハ一萬三千三百三十九石ヲ算シ縣内ニ溯タリ今製造法ノ一般ヲ見ルニ逐年改良セラレツ、アリト雖尙舊慣ヲ踏襲スルモノ少カラス即設備ノ如キ洗米機ノ應用、竈、製麴室、大入裝置壓搾機貯造機等ニ至ル迄大ニ改善ノ跡歴然タルノアルハ誠ニ喜フヘシト雖未タ原動力ヲ應用シ勞力時間及經費等ノ節減ヲ計ルモノナキハ遺憾ナリ又釀造法ニ至リテモ着々改良ヲ加ヘ醇良酒ヲ出スト雖一般ニ酒母多量ヲ用ヒ汲水ヲ減シ以テ酒質ノ濃厚ナルモノヲ釀出シ割水ヲ行ハントスルノ弊風アルヲ免レズ之レハ酒造稅ヲ免ル、ト釀造經過ノ安全ナルヲ期スルニアルヘシト雖此ノ如クシテ釀出シ割水ヲ行ヒタルモノハ當初ヨリ酒母ヲ減シ(但強性ナルヲ要ス)汲水量ヲ増シタルモノニ比シ酒質醇良ナラサルハ事實ノ証スル所ナリ且割水ヲ行ヒタルモノハ保存上危險ノ点多シ夏期ニ際シ酸味ヲ帶ヒ惡臭ヲ放ツカ如キ腐敗酒アルヲ見ルハ是等ニ基因セスンバアラス

以上設備ノ改良ハ多額ノ經費ヲ要スルヲ以テ直ニ當業者ニ要求シ難シト雖釀造法ノ改良ハ實行上何等ノ障害ナキヲ以テ酒母ノ減量並ニ汲水量増加ノ利益ヲ説キ當業者ノ反省ヲ促サントス

(甲) 酒母減量ノ利益

酒母量ヲ減スルトキハ經費勞力等ヲ節約シ得ルノミナラス酒質ヲ向上セシメ價格ヲ高ムルヲ得ヘシ今清酒百石ニ對シ酒母使用量一、二〇〇トナシタルモノヲ強性酒母〇、七五〇ニ改ムルトキハ左ノ如シ

減量シ得ヘキ酒母用米

三石七斗六升六合

此價格

五拾貳圓七拾貳錢四厘(石十四圓)

製造費薪炭料

貳圓五拾錢

職工費

拾六圓貳拾五錢

雜費

壹圓

合計

七拾貳圓四拾七錢四厘

之ヲ郡内製造高ニ割當ツルトキハ九千五百二十餘圓ノ冗費ヲ削減スルヲ得ベシ

(乙) 吸水量増加ノ利益

從來一〇、〇〇ノ汲水ヲ使用セシヲ一〇、五〇ニ増ストキハ清酒百石ニ對シ三石餘ノ増量ヲ得ベシ斯クシテ釀出シタルモノハ辛味風味共ニ前者ニ勝レリ此増量ニ要スル税金六拾圓ヲ差引クモ純益金六拾圓ヲ得ベシ之ヲ本郡四十二年ノ製造高ニ配當スルトキハ七千八百八十三圓ノ增收トナル

以上二種ノ改良ニ依リ約一萬七千四百圓ノ增收ヲ得ルノミナラス品質醇良トナルヲ以テ更ニ一層ノ利益ヲ享クムヲ得ヘシ殊ニ本郡ハ水陸共ニ運輸ノ便ヲ有シ輸出先ノ需用倍ニ増加スルノ時ニ方リ釀造法ニ改良ヲ加ヘ加工費ヲ節約シ可及的價格ヲ低廉ナラシメバ輸入品ヲ防遏シ進テ販路ヲ擴張スルヲ得ベク斯業ノ發展期シテ待ツベシ

第二 醬油

醬油ノ製造狀況ハ年々幾分戸數ヲ増加スルモ其生産高ハ依然トシテ増減ナシ是當業者ノ改良思想ノ欠乏セルヲ表明セルモノナリ由來醬油ハ酒類ト異リ危險ノ度少キヲ以テ進歩ノ刺激ヲ與フル薄キカ故ニ設備並ニ製造方法モ舊慣ヲ採守スルモノ多シ而シテ本郡ハ運輸ノ便ヲ有シ加フルニ原料タル大豆小麥等郡内ノ生産品ハ品質優良ニシテ産出多ク價格廉ナルヲ以テ製造上ニ利便多キカ故ニ之カ改良ヲ圖ルニ於テハ前途益有望ナリ依テ注意スキ要點ヲ指摘スレバ

- 一 竈ヲ改良シ燃料ヲ節約スルコト
- 一 大豆煮熟法ヲ改良シ大豆成分ノ流失ヲ防クコト
- 一 小麥炒製法ヲ改良シ均等ニ操作シ且時間努力ヲ節減スルコト
- 一 細碎石臼ヲロール式ニ改メ均等ニ細碎スルコト
- 一 大豆小麥混和法ヲ改良シ均等ニ混和スルコト
- 一 製麴室ヲ保温保濕換氣ニ充分ナル構築クコト
- 一 製麴溫度操作ニ注意スルコト
- 一 諸味攪拌法ヲ改良シ完全ニ其効アラシムルコト
- 一 壓搾器ヲ改良シ勞力時間ヲ節約シ其增收ヲ圖ルコト
- 一 火入方法ヲ改良シ殺菌ト成分分解トヲ完全ニ行フコト

以上ノ各項ヲ履行シ後適當ナル裝置ニヨリ麴菌酵母ノ繁殖ニ適セシメ爾後醱酵ヲ速進セシムルニ適當ナル溫度ヲ與ヒ十數ヶ月ニシテ熟成セシメタルモノヲ六ヶ月ニ短縮シテ熟成セシムルヲ得ヘシ然ルトキハ千石ニ對シ左ノ如キ利益アリ

原料費ノ金利 (十二ヶ月間ヲ要シタルヲ六ヶ月間ニ短縮シ年利七分ト定ム)

七ヶ月分 金八百十五圓一錢

職工ノ賃金 (從來九ヶ月間使用シタルモノト定ム)

四ヶ月分 金九百三十三圓三十三錢

即千石ニ對シ千七百四十八圓三十四錢ノ利益アルヲ以テ四十二年ノ造石高一萬六千四百九十六石ニ割當ツルトキハ二萬八千八百四十六圓餘ノ經費ヲ節減シ得ル計算ナリ

第三 製糸

本郡ノ養蠶家ハ逐年隆盛ノ域ニ進ミツ、アリト雖取繭ノ三分ノ二ハ廉價ヲ以テ縣外ニ販賣セラル、ノ狀況ナリ若製糸業者續出シテ生繭ノ儘郡外ニ販賣スルカ如キコトナキニ至ラバ其生産額ハ非常ナル多額ニ上ルベク亦一面ニハ繭ノ聲價ヲ自然昂騰セシムルヲ以テ養蠶家ノ利益ヲモ増大アラシムヲ得ベシ故ニ養蠶ノ發達ヲ望マバ製糸業者ノ之ニ伴フナクンバアラズ製糸業ノ勃興ハ恰早天ニ雲霓ヲ望ムカ如ク一日モ速ナランコトヲ願フモノナリ然リ而シテ本郡ハ繭ノ生産地ナルヲ以テ遠ク他府縣ヨリ來リ運賃及多額ノ費用ヲ投シ買得スルニ比スレバ是等ノ費用ヲ節約シ得ルヲ以テ他府縣人ト競争シ決シテ失敗ヲ招クカ如キ虞ナキカ故ニ充分ノ成效ヲ見ルベキニ其不振ナル所以ノモノ何ソヤ是レニ當業者カ職工操縦法ノ拙ナルニ基因セスンハアラス從來ノ企業者ニシテ失敗ニ歸セシモノ大抵同一轍ニ出テサルハナシ而シテ之カ改良ノ方法トシテハ職工ノ教育衛生貯蓄慰安等相關聯セルヲ以テ具体的ニ明記シ難シト雖斯業ノ成敗ハ職工操縦法ノ巧拙ニ繫カルヲ以テ當業者タルモノ自覺スル所ナカルベカラス

第四 屑繭整理

從來屑繭ハ精繭ト共ニ甚シキ廉價ヲ以テ取引セラレツ、アリ是レ社會ノ實況ヲ知ラサルト之レカ整理ヲ行フヲ怠ルトニ因ラズンバアラス故ニ將來整理ノ方法ヲ普及セシムルハ一大道利ヲ収拾スル緊要事項タルヲ失ハス今現産額ニ就キ利益ヲ計算スレバ

(甲) 玉繭 繰糸

四十二年ノ玉繭ハ千八百三十二石此代金二萬五千三百圓ナリ之ヲ繰製シテ玉糸トナセバ一升八匁ノ玉糸ヲ得ベク即チ四百六十五貫六百匁ヲ製出スベシ此價格百匁三圓ト見積リ此ノ内工費一萬四千六百五十六圓並ニ原料代ヲ扣除スルトキハ七千七百八十二圓ノ純益ヲ得ベシ

(乙) 屑繭及出殻繭ノ真綿製造

四十二年ノ產額ハ千六百五十八石ニシテ之ヲ真綿ニ製造スルトキハ一升七匁五分ト見做シ千二百四十三貫五百匁ヲ得ベシ而シテ現在真綿ノ製產高ハ僅々二十二貫ニ過キサルヲ以テ尙千二百二十一貫五百匁ヲ製造シ得ヘシ百匁一圓八十錢ト見積リ二萬千九百八十七圓トナルヲ以テ原料代一萬八千三百八十一圓ヲ扣除スルモ三千六百六圓ノ利潤ヲ得ヘシ若シ製造方法ヲ改良シ精品ヲ出サハ其價格ヲ百匁ニ付五十錢ヲ昂ムヲ得ヘク斯ノ如クナルトキハ尙右ノ外六千五百八圓ノ利益ヲ得ヘシ以上ノ如クナルヲ以テ本郡ハ左ノ方法ヲ執ラントス

(一) 屑繭整理講習會ヲ繼續シテ之カ普及ヲ圖ルト共ニ品質ノ向上ヲ期スルコト

第十章 商業

商業ノ興廢ハ産業ノ盛衰ニアリ産業ノ發達ハ商業ノ力媒介ヲナスナクンハアラズ之ヲ以テ商業ヲ隆昌ナラシメンニハ勢産業ノ發達ヲ期セサルヘカラス産業ヲ開發シ福利ヲ増進センニハ商業ノ興隆ヲ圖ラサルヘカラス實ニ産業ト商業トハ恰鳥ノ双翼車ノ兩輪ノ如シ然リ而シテ本郡ハ金融機關略備ハリ地ノ利既水陸ノ便ヲ併有シ加之未改修ノ縣道ヲ修理シ里道亦適當ナル修繕ヲ加フルニ於テハ一層ノ便宜ヲ加ヘ且以上叙述セル方法ニヨリ各種ノ産業勃興スルニ伴ヒ益其基礎ヲ鞏固タラシムヲ得ベク將來ノ發展期ヲ待ツヘシ然リト雖天ノ利ハ地ノ利ニ如カス地ノ利ハ人ノ和スルニ如カスト苟之ヲ自然ニ放任センカ健全ナル發達何レノ日ヲ期センカ況ンヤ下級商人ノ常トシテ動モスレバ誑詐虛冒ヲ以テ商家ノ要訣ト心得一朝露顯結問セララルモ恬トシテ愧チス寧手腕ノ敏活ヲ誇負スル者アルニ於テヤ而シテ是等德操信義ハ時ト共ニ漸ク助長セントスルノ傾向アリ此

ノ時ニ當リ商業ノ隆盛ヲ圖ランニハ商業道德ノ鼓吹ヨリ急ナルハナシ商業道德トハ何ゾヤ曰ハク各自責任ヲ重シ顧客ノ利便ヲ主トシ萬事正廉ヲ旨トシ緩急相應シ有無相通シ以テ公衆ヲシテ毫モ不便不快ヲ感セシメサルニアリ故ニ同種ノ商人ハ一定ノ組合ヲ設ケ利益ノ交換ニ努メ商品ノ仕入ニ就テハ共同購入ヲ實行シ手數ト冗費ヲ節シ自家ノ利益ヲ圖ルト同時ニ精品ヲ廉價ニ需用者ニ供給スルヲ要ス依テ前記ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ事項ヲ獎勵セントス

(一) 同業者ノ組合ヲ設ケ利益ノ交換ヲ謀リ以テ商業道德ノ鼓舞ニ努メシムルコト

以上ハ重ナル生産物ニ就キ改良スヘキ要點ヲ記述シタルニ過キス此ノ外尙遺利ノ存スルモノ多々アリ若是等ノ事項實行セララルルニ至ラハ本郡ノ增收額ハ左表ノ如クニシテ富力ノ増進ハ驚クヘキモノアラシ

農産物增收額

種類	數量	價格	說明
米	二〇、四二	二八五、七四	現在ノ作付反別九千二百卅五町九反歩ヨリ一反歩當二石ト見做シ現在ノ一石七斗七升九合ニ比シ二斗二升一合ノ增收一石拾四圓
陸稻	一四、九六	一九四、五六	全上九百一町二反歩ニ對シ一反歩當一石五斗ノ收穫四十二年ノ七斗一升三合ニ比シ七斗八升七合ノ增收一石十三圓
大麥	三、四六	一五、〇五	全上三百廿五町四反(田畑共)ナルモ土地改良ニヨリ百七十五町ヲ増シ三千三百町四反ニ對シ一反歩二石五斗ノ收穫現在ノ二石四斗五升六合ニ比シ一石四升四合ノ增收一石四圓五十錢
小麥	三、七五	一八、七〇	全上四千三百十町二反(田畑共)ニ對シ一反歩當一石四斗ノ收穫現在ノ八斗七升三合ニ比シ五斗二升七合ノ增收一石八圓
裸麥	二、五八〇	一八、〇六〇	全上四百九十七町一反ニ對シ一反當歩一石六斗ノ收穫現在ノ一石八升一合ニ比シ五斗一升九合ノ增收一石七圓
大豆	一〇、五七	一〇五、〇七〇	全上三千四百卅三町六反ニ對シ一反歩當一石ノ收穫現在ノ六斗九升四合ニ比シ三斗六合ノ增收一石三圓
小豆	六、一七	七、四〇四	全上三百三十三町七反ニ對シ一反歩八斗ノ收穫現在ノ六斗一升五合ニ比シ一斗八升五合ノ增收一石三圓
菜種	二、一〇〇	一八、九〇〇	田二毛作トシテ百七十五町ヲ植栽シ一反歩當一石二斗一石金九圓
蔬菜	一	二九、四二	現生産價格廿九萬四千四百六圓ナルモ品種改良ノ結果一割ノ增收ヲ得ベシ

綠肥	九千三百十町歩ノ内土地改良ノ結果從來ノ乾田ヲ通シ二割ノ乾田即チ千八百六十二町歩ノ四分ノ一ニ紫英ヲ栽培ス一反歩收量五百貫一貫目金壹錢四厘
堆肥	現在田畑耕地二萬百十九町歩ニ要スル堆肥一反歩ニ付三十貫目宛ヲ増加シ一貫目一錢
繭	現在繭立二萬二千八百六十枚(夏蠶ハ二枚秋蠶ハ一枚半ヲ以テ一枚トス)桑園改良ニ伴フ増加二千五百枚計三萬五千三百六十枚ニ對シ一枚二石三斗七升ノ收繭二石四十圓但四十二年ノ生産高扣除現在桑葉三百卅三萬四千五百貫ナル桑園改良ノ結果三割ノ增收一貫目十二錢
桑葉	其他農産物現在生産高十六萬九千五百十四圓ニ對シ一割ノ增收ト見做ス
其他	一六、九五二
合計	一五五、〇〇八

畜産物增收額

豚	八、七四三	現在出產八百卅一頭ニ對シ一頭三貫目増加増飼ノ結果二百五十頭ノ増産一頭廿五貫目平均一貫目六十錢
鶏卵	三、二〇〇、五八八	現在成雌禽五萬七千五百五十三羽ニ對シ平均産卵數百廿個現在ノ平均六十四個ニ比シ五十六個ノ増加一個金貳錢
合計	六九、二五七	

林産物增收額

炭	七〇、四三三	在來法ニヨリ現在生産高十四萬八千四百四十六貫ニ對シ五割ノ增收一貫目金十三錢外ニ在來法ノ製炭ニ對シ一貫目一錢ノ騰貴
水産物增收額	一〇、五三三	

製造物增收額

製造物	八、二六八	現在ノ生産高八萬二千六百卅八圓ニ對シ加工ノ増加並ニ改良ノ結果一割增收
養殖	九、〇〇〇	民有溜池七町八反八畝及官有池沼ヲ利用シ飼養スルモノトス
合計	一七、二六八	

工産物增收額

清酒	四、四〇〇	現生産高一萬三千百卅八石ニ對シ汲水量増加ニヨリ三百九十四石ノ增收一石四十圓税金差引七千八百八十圓酒母減量ニヨリ九千五百廿圓品質向上ノ結果二圓増此金二萬七千圓
----	-------	--

醬油	四五、三〇二	全一萬六千四百九十六石ニ對シ釀造法改良ノ結果經費削減二萬八千八百四十六圓品質向上
玉糸	一、四六六	石一圓増一萬六千四百九十六圓
眞綿	二、四三八	玉繭千八百卅二石ニ對シ原料代ヲ扣除シタルモノ
合計	一〇、二四四	屑繭及出殻繭千六百五十八石ニ對シ原料代並ニ同年ノ生産高ヲ扣除シタルモノ外ニ品質向上ノ結果百多ニ付五十錢增收
商業ノ利益増額	二二、二九四	
合計	一八、四〇〇	四十二年ノ利益概算額百十八萬四千圓ナルモ業務擴張ノ結果一割ノ增收

總計金百八十九萬六千七百九十圓

第十一章 基本財産

第一 郡基本財産ノ造成

郡ハ一ノ自治体ナル以上之カ基礎ノ鞏固ヲ圖ランニハ基本財産ヲ増殖セサルベカラス然ルニ本部ハ一ノ基本財産ヲ有セス故ニ之カ増殖ハ現下ノ急務ナルヘシト雖他ニ適當ノ財源ナキヲ以テ勢町村ノ分賦額ニ俟タサルヘカラス然リト雖町村費ハ逐年膨脹シ既ニ財源ニ苦シミツツアル今日ナレハ郡費負担ノ増加ハ是レ亦容易ニ望ムヘカラス依テ郡民ノ負担ヲ重カラシメサル程度ニ於テ漸次造成ノ途ヲ講セントス

第二 町村基本財産ノ造成

町村ノ經費ハ非常ナル増加率ヲ以テ膨脹シツ、アリ今ニシテ之カ補足ノ途ヲ講セスンハ遂ニ其ノ負担ニ堪ヘサルニ至ルヘシ故ニ町村ノ財政ヲ調和シ經濟ノ基礎ヲ鞏固ナラシメント欲セバ須ラク基本財産ノ造成ニ努メサルヘカラス基本財産ノ造成ハ即郡是ノ終局ノ目的ニシテ幾多ノ改良事項ハ此大目的ヲ貫徹セントスル手段方法ニ外ナラサルナリ現今各町村ノ基本財産ヨリ生ス

ル一ヶ年ノ収入ハ九千三百餘圓ニシテ町村費ノ二十五分ノ一ヲ充タスニ過キス夫レ課稅本位ノ町村ハ一朝有事ノ秋ニ際シ臨時ノ増稅アラシカ倉皇經費ノ緊縮ニ勉メ可惜有要ノ施設モ空シク繰延又ハ中止スルノ止ムナキニ至ル近キ實例ハ日露戰役ノ示ストコロナリ此ノ苦キ經驗ヲ有スル町村當事者ハ奮勵一番基本財産ノ増殖ニ力ヲ致シ再前轍ヲ履マサルノ覺悟ナカルヘカラス然リト雖効ヲ一舉ニ収メント欲シ重稅ヲ課センカ是レ恰股ヲ割ヘテ腹ヲ愈ヤスニ異ナラサルヲ以テ町村ハ宜シク財政ノ實狀ニ鑑ミ條例ヲ設ケ適當ナル施設ヲ以テ基本財産ノ増殖ヲ期セサルヘカラス

第三 部落有財産ノ統一

部落有財産ナルモノハ法ノ精神上存在ヲ認ムヘキモノニアラス之ヲ詳言スレバ大字ニ屬スル町村有財産ナリ抑從來ノ部落有財産タルヤ自治制實施ノ當時新町村ノ所有ニ移スヘキ者ヲ或ル事情ノ爲メ各部落有トナシタルモノナレバ之ヲ町村ノ財産ニ移スハ至當ノ事ナリトス而シテ部落有財産ハ因襲ノ久シキ到底法規ニ準據シテ管理經營スルコト能ハス或ハ支途ノ明瞭ヲ欠クモノアリ收益ノ僅ニ租稅ヲ償フニ過キサルモノアリ故ニ之ヲ純然タル町村有財産ニ移スハ此等ノ弊ヲ除去シ且煩雜ナル政務ノ手數ヲ省略スルノミナラス部落割據ノ弊ヲ艾鋤シ町村自治ノ基礎ヲ鞏固タラシムルノ途ナルヲ以テ之カ整理ハ極メテ緊要ノ事ナリトス依テ之カ成功ヲ期センカ爲メ左ニ方針ヲ定ム

- (一) 各部落間ノ財産ニ懸隔アルトキハ最多有部落ノ財産ヲ標準トシ財産ノ少額ナル部落ハ現金ヲ贖出シテ部落間ノ權衡ヲ保チ之ヲ町村ヘ移スコト
- (二) 前項ニ依リ難キトキハ土地ノ半額ハ無代ニテ提供セシメ半額ハ町村ニ於テ買取スルコト

第十一章 産業組合

産業組合ハ中産以下ノ人民ニ産業ニ必要ナル資金ヲ供給シ貯金ノ便ヲ與ヘ生産品ノ共同販賣必需品ノ共同購入ヲナシ兼テ生産ヲ目的トスル經濟的團體ナルヲ以テ貧富ノ懸隔益其ノ度ヲ高メントスルノ時ニ當リ富者ト共ニ生存競争場裡ニ馳驅セシム

ルヲ得ル唯一ノ機關タリ而シテ産業組合ニ五種アリ曰ハク信用組合曰ハク販賣組合曰ハク生産組合曰ハク購買組合曰ハク兼營組合是ナリ各皆特殊ノ目的ヲ有シ信用組合ハ産業ニ必要ナル資金ヲ貸附ケ並ニ組合員ニ貯金ノ便ヲ得セシムルニアリ即人民各自孤立シテ資金ノ供給ヲ仰ク信用ナキモノト雖信用組合ヲ組織シテ之カ組合員トナルトキハ連帶ノ信用ニヨリ勸業銀行又ハ農工銀行等ヨリ低利ノ資本ヲ借り受ケ之ヲ生産業ニ使用スルヲ得ヘシ販賣組合ハ組合員ノ生産物ヲ共同販賣シテ各自ノ利益ヲ保護スルニアリ即中産以下ノ業者者カ個々獨立シテ販賣スルトキハ同種同質ノモノヲ多量ニ供給シ能ハサルカ故ニ價格低廉ヲ見ルト仲買者ニヨリ利益ヲ壟斷セラル、ノ不利ヲ匡救スルヲ得ヘシ購買組合ハ産業又ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購入シテ之ヲ組合員ニ賣却スルヲ以テ目的トナスモノナリ即多人數共同ノ下ニ一時ニ多量ノ物品ヲ購入スルトキハ價格廉ナルノミナラス品質ノ佳良ナルモノヲ得ルノ利アリ生産組合ハ農産物ノ生産又ハ之ニ加工シテ半製若クハ精製品トシテ販賣スルヲ目的トスルモノナリ即其目的トスル所主業ノ外ニ副業品ノ生産ニアルカ故ニ副業獎勵ノ助トナルヘシ斯ノ如ク各特殊ノ目的利益ヲ有スルガ故ニ單ニ一種ノ組合ニテハ十分ノ効績ヲ舉グル能ハス兼營組合トハ即是等ノ二種以上ノモノヲ合同兼營スル組合ナリ何レモ皆産業ノ發達ヲ補助スル唯一ノ機關ナルヲ以テ之レカ設立ヲ獎勵シ併セテ既設ノ組合ニ對シ益其ノ活動ヲ促スハ目下ノ急務ナリトス本郡四十三年末ノ統計ニヨレハ信用組合五、購買組合十一、兼營スルモノ六、合計二十二ニ過キス且是等ノ既設組合ニシテ充分ニ活動シツ、アルモノニ至リテハ寥々トシテ晨星ノ如シ是レ畢竟未タ産業組合ナルモノ、目的ヲ知悉セサルト經營上ノ經驗淺キカ爲メ運用ノ妙ヲ得サルニ因ルヲ以テ吏員ヲ派シ講習ニ講話ニ大ニ之カ指導獎勵ニ努メントス

第十三章 教育

民力ノ充實ハ産業ノ發展ニアリ人心ノ作興ハ教育ノ進歩ニアリ二者併立シテ初メテ國家ノ安寧ヲ維持シ國運ノ進暢ヲ期スルコトヲ得ヘシ然リト雖モ産業ノ發展ハ教育ノ振興ニ俟ツモノ多シ即以上略述セル各種産業ノ施設モ教育ノ力ヲ藉ルニアラスンハ終局ノ美果ヲ収ムル能ハス是教育ノ一日モ忽諾ニ附スヘカラサル所以ナリ然リ而シテ本郡ハ現況調査ニ述ルカ如ク教育

ノ機關略備ハレリト雖實質の方面ニ於テ幾多改良ヲ加フヘキ餘地アルヲ認ム左ニ之ヲ述ヘン

第一 義務教育

我國文運ノ進歩ニ伴ヒ國民ノ就學義務ヲ六ヶ年ニ延長セリ然リト雖吾人ハ之ヲ以テ安ンヌルモノニ非ス尙進テハ更ニ之ヲ八ヶ年ニ延長セントヲ希望シテ止マス蓋吾人ノ理想ヲ實現スルノ日遠キニアラサルヲ信スルモノナリ此時ニ當リ本部學齡兒童ノ就學及出席ノ歩合ヲ見ルニ明治四十四年三月末ニ於ケル就學歩合ハ男九十九人八厘女九十五人七分七厘平均九十七人七分四厘尋常科ノ出席歩合ハ男九十五人五分五厘女九十三人三分三厘平均九十四人五分一厘ニシテ決シテ良好ノ成績ト認ムルヲ得ス其他設備ノ如キ校舍狹隘ニシテ兒童ヲ收容スルニ困難ナルモノアリ教具不備ニシテ教授上ノ便ヲ欠クモノアリ内容ノ改善ニ至リテモ今後研究改良ヲ要スヘキ點鮮ナカラス抑就學義務ナルモノハ國家カ生存上ノ必要ヨリ一般個人ニ負ハシメタル公法上ノ義務ニシテ國民ノ要スル最低限度ノ教育ナルヲ以テ一人ノ不就學者ト雖看過スヘキニアラス況ンヤ其歩合ノ九十八人ニ達セサルニ於テヲヤ其他實質的改善ニシテ苟モ之ヲ等閑ニ附センカ是即義務教育ノ趣旨ヲ没却スルモノト謂フヘシ依テ以上ノ目的ヲ達成センカ爲メ左記ノ事項ヲ獎勵實行セントス

- 一 明治三十九年十二月縣通牒ノ就學及出席事務取扱規程ノ勵行ヲ圖ルコト
- 二 學齡兒童保護會ノ活動ヲ促シ其實績ヲ舉ケシムルコト
- 三 教員ヲシテ自己ノ修養ニ努メ以テ國民教育ノ要旨ヲ透徹センコトニ留意セシムルコト
- 四 常ニ經濟方面ヲ顧慮シ其費ス所小ニシテ得ル所大ナランコトニ留意スルコト
- 五 學校基本財産ノ造成ヲ努ムルコト
- 六 校舍教具等形式的設備ノ完成ヲ圖ルコト

第二 補習教育

國民教育ヲシテ一層有効ナラシメ風教上ノ改善ヲ圖リ實業振興ノ實ヲ舉ケンニハ補習教育機關ヲ完備シテ青年者ノ指導誘掖

ヲ謀ラサルヘカラス若シ此施設ニシテ不備ナランカ忽ニシテ頹廢セル社會ノ弊風ニ感染シテ純良ナル品性ヲ傷ケテ遊惰放逸ノ氣風ヲ醸シ國民教育ノ過半ハ之カ爲メニ破壞セラレ遂ニハ邦家ノ基礎ヲモ危クスルニ至ラサルヲ保セス世ニ謂ハユル不良無賴ノ青年ナルモノ此種ノ薰陶ヲ忽ニシタル結果ト言ハサルヲ得ス依テ左ノ方法ヲ採ラントス

- 一 實業補習學校ヲ一町村ニ一校以上ヲ設置スルコト
- 二 町村ニ女子補習教育機關ヲ設置スルコト
- 三 町村青年團ノ組織ヲ鞏固ナラシメ之ヲシテ大ニ實績ヲ舉ケシムルコト

第三 實業教育

本部實業教育ノ機關トシテ現在設置セラルルモノハ郡立農學校土浦高等女學校ノ實科、石岡町立實科女學校ニシテ未タ商工業ニ關スル教育機關ヲ有セス今之等實業學校ノ生徒募集ニ際シ極力勸誘ノ結果辛フシテ定員ヲ滿タスヲ常トス之レハ農商工業ニ從事センニハ只父祖傳來ノ方法ヲ套襲スレハ定レリトナシ特ニ其ノ業務ニ對スル學校教育ヲ受クルノ必要ヲ自覺シ得サルノ徒多キト一ハ世ノ風潮ニ驅ラレ空想ニ捕ハレテ自家ノ營務ノ價值ヲ誤解シ徒ラニ高等ノ教育ヲ受ケントスルノ輩少ナカラサルトニ因ルモノニシテ國運ノ發展上決シテ看過スヘカラサル現象ナリト殊ニ近來青年ニシテ勤勞ヲ厭ヒ榮譽ヲ望ムノ傾向ヲ生シ寧著實有利ナル父祖ノ業務ニ就クヲ欲セサルモノ漸ク多キヲ加フルカ如キハ甚憂フヘキ狀態ト言フヘシ今後ハ宜シク此等ノ弊風ヲ防壓スルト共ニ大ニ實業教育ノ必要ヲ自覺セシムル方策ヲ講セサルヘカラス依テ其ノ方針ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 小學校ニ於ケル實業教科ノ教授及施設ヲシテ一層有効ナラシムルコト
- 二 勞働ヲ神聖視シ父祖ノ家業ニ就クヲ尙ブ良風ヲ作興セシムルコト
- 三 自己ノ業務ニ對シテ必要ナル新智識ノ取得ニ努メ以テ產業ノ發達ヲ期セシムルコト
- 四 獨立自營ノ氣象ヲ振興セシメ協同一致ノ精神ヲ涵養スルコト

第十四章 郡歳入出現在將來ノ比較

(十ヶ年後)

種別	入		出		差引	過不足
	現在	將來	現在	將來		
歳計	六、〇五、三三三	七、九三、一七三	六、〇四、九〇四	七、二〇、八八五	過	過
歳金	五、四七、九	七、四七、二八八	二、四六、六	三、五四、二	過	過
戸當	四四六	四八七	二、四六六	三、五四二	過	過
一人當	五、四七九	七、四七二	二、四六六	三、五四二	過	過

本表將來ノ歳入増収ハ収益確實ナル第十一章末尾ニ掲載セル各種ノ収利ヲ計上シタルモノニシテ歳出ハ社會ノ進歩ニ伴フ生活費ノ増加並ニ産業改良ニ伴フ生産費及公課ノ増額等ヲ通シ現在ノ二割ヲ豫定シタルモノナリ尙之ヲ本郡ノ戸口ニ割當ツルトキハ左ノ如シ

將來ノ戸口ハ現今ノ一割増ヲ豫想シ配當シタルモノナリ

第十五章 結論

以上調査ノ結果ニ依レバ從來消費ニ對スル生産ノ剩餘金ハ僅々一ヶ年五萬一千四百七十九圓ニ過キサリシモ本郡是實行ノ結果ハ十年後ニ於ケル支出ノ増加ヲ相殺シテ七十四萬七千二百八十八圓ノ剩餘ヲ生スルニ至ル斯カル偉大ナル効果ヲ收ムルヲ得ルハ全ク本調査ノ賜ナレバ進ンテ之カ實行ヲ期セサルヘカラス而シテ本郡是ノ記述スル所主トシテ經濟的經綸ヲ樹ツルニアリト雖經濟的ノ改良進歩ハ風教道德ヲ外ニシテ其目的ヲ達スル能ハサルヲ以テ物質的進歩ヲ企畫スルト共ニ精神的ノ教化

ヲ併行セシムルノ策ヲ執レリ約言スレバ經濟及徳道ノ改良ニアリ夫レ一般經濟上ノ激變ニ際會シ凶歉災厄ニ遭遇スルモ泰然自若トシテ一家離散ノ不幸ヲ免レ産業ノ不振ヲ來スカ如キ虞ナカラシメ自治團體ニ於テモ急遽經費ヲ緊縮シテ事業ヲ延期シ又ハ中止スルカ如キコトナカラシメンニハ常ニ民力ノ充實ヲ期セサルヘカラス一身一家ノ安寧秩序ヲ保チ國家ノ公安ヲ維持セシニハ須ラク徳義ノ涵養ニ力メサルヘカラス民力ノ充實ハ産業ノ發達ニアリ徳義ノ養成ハ教育ノ振興ニアリ郡是ノ實行ハ即財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ自治自立ノ精神ヲ養ヒ地力自治ノ振興發展ヲ促進スルノ途ナリ故ニ本調査ノ針路ニ基キ至誠以テ業ニ當リ自ラ彊ヘテ息マスンハ民力ハ充實シ人心ハ作興シ以テ郡民ノ福利ヲ永遠ニ維持スルヲ得ヘシ要ハ郡民ノ勤勉ニアリ豈ニ奮爲セサルベケンヤ

359
3

大正二年六月二十八日印刷
大正二年九月七日發行

茨城縣新治郡

茨城縣新治郡土浦町

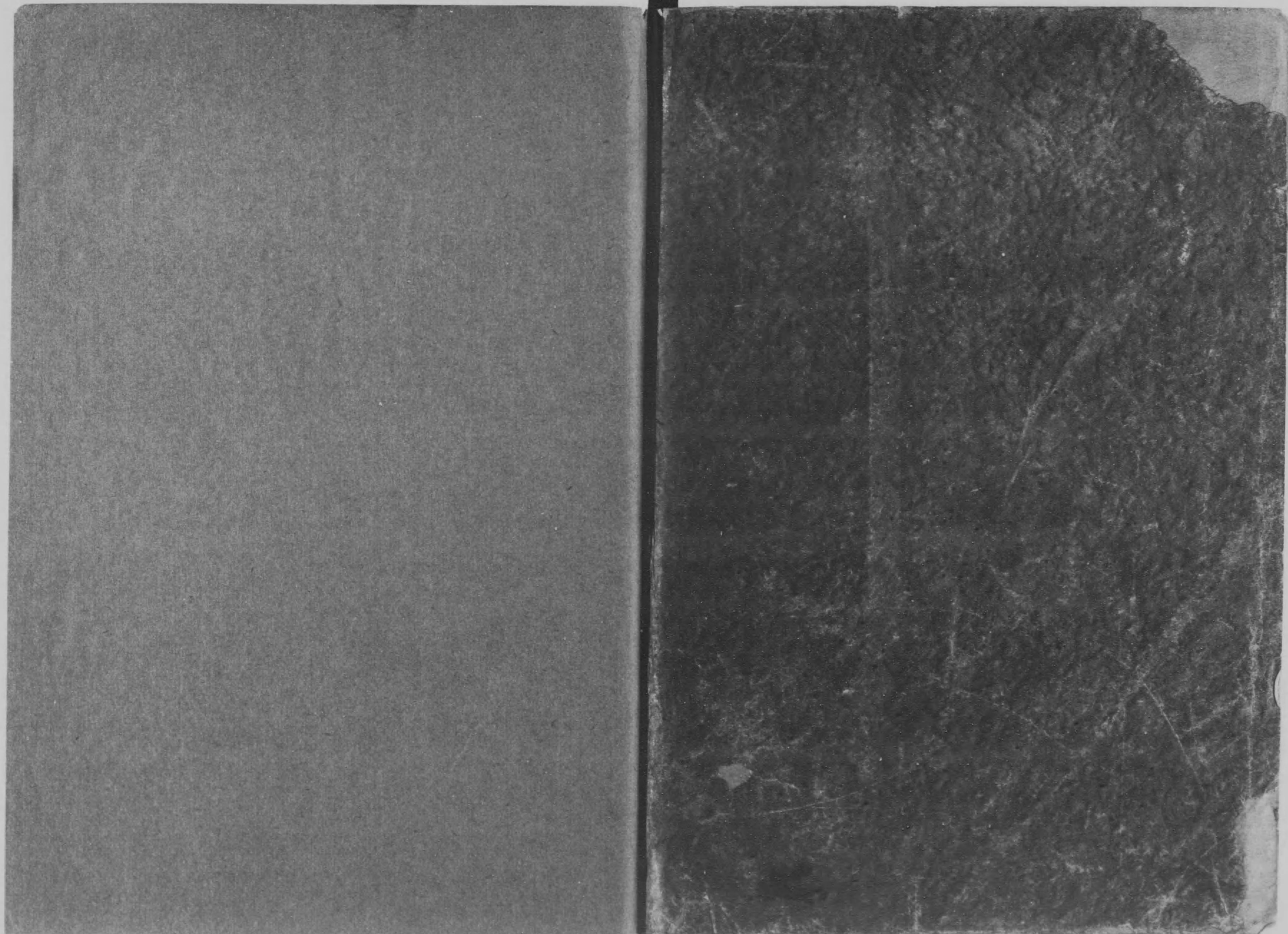
印刷者

伊沼彌助

全所

印刷所

土浦活版所



359
3

終